

京田辺市文化振興計画策定のための
市民アンケート調査及び
団体アンケート・ヒアリング調査
結果報告書

平成 26 年 12 月

京 田 辺 市

目 次

I 市民アンケート調査

1 調査の概要.....	1
1) 調査の目的	1
2) 調査対象	1
3) 調査期間	1
4) 調査方法	1
5) 回収状況	1
6) 調査結果の表示方法	1
2 調査結果.....	2

II 団体アンケート・ヒアリング調査

1 調査の概要.....	36
1) 調査の目的	36
2) 調査対象	36
3) 調査期間	36
4) アンケート調査の方法	36
5) アンケートの回収状況	36
6) ヒアリング調査の方法	36
7) ヒアリングの実施状況	36
8) アンケート回収団体名・ヒアリング実施団体名	37
2 調査結果.....	38

I 市民アンケート調査

1 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、魅力的で、いつまでも住み続けたいと思える文化の薫るまちづくりに向け、今後の文化振興の指針となる「京田辺市文化振興計画」策定の基礎資料とするため、調査を実施したものです。

2) 調査対象

満 16 歳以上の市民を無作為抽出

3) 調査期間

平成 26 年 8 月 4 日から平成 26 年 8 月 25 日まで

4) 調査方法

郵送による配布・回収

5) 回収状況

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000 通	1,016 通	1,015 通	50.8%

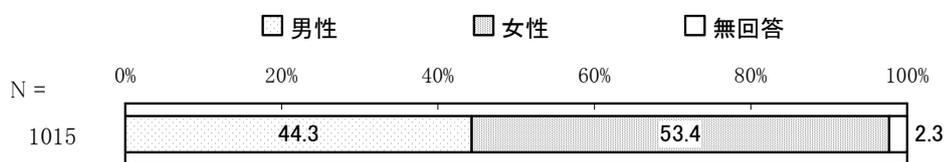
6) 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

2 調査結果

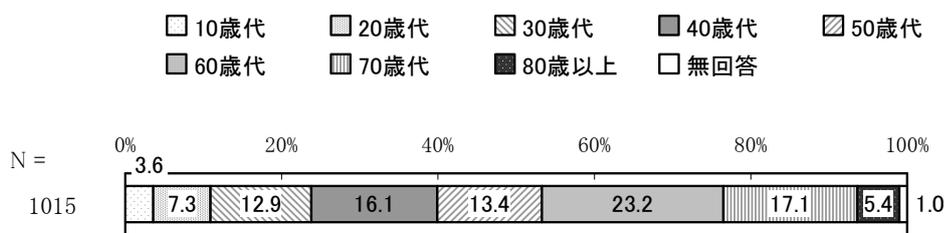
問1 あなたの性別を教えてください。(〇はひとつ)

「男性」の割合が44.3%、「女性」の割合が53.4%となっています。



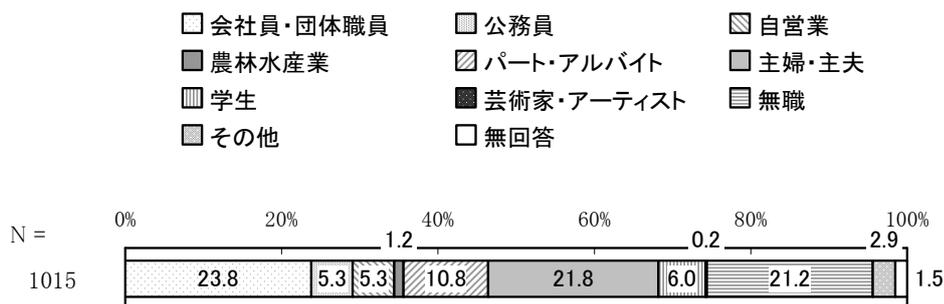
問2 あなたの年代を教えてください。(〇はひとつ)

「60歳代」の割合が23.2%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が17.1%、「40歳代」の割合が16.1%となっています。



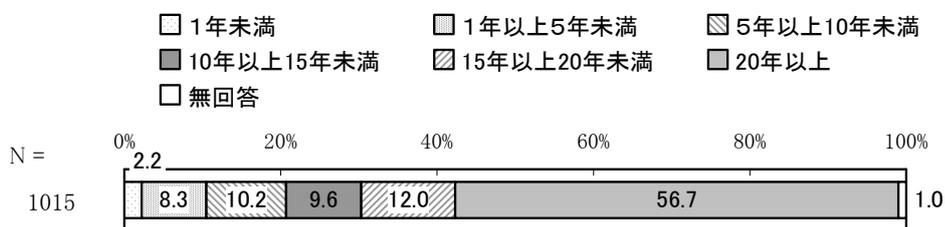
問3 あなたの職業を教えてください。(〇はひとつ)

「会社員・団体職員」の割合が23.8%と最も高く、次いで「主婦・主夫」の割合が21.8%、「無職」の割合が21.2%となっています。



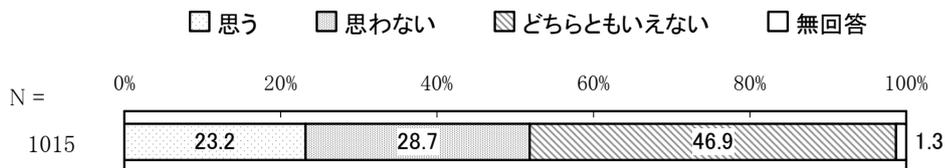
問4 あなたの京田辺市での居住年数を教えてください。(〇はひとつ)

「20年以上」の割合が56.7%と最も高く、次いで「15年以上20年未満」の割合が12.0%、「5年以上10年未満」の割合が10.2%となっています。



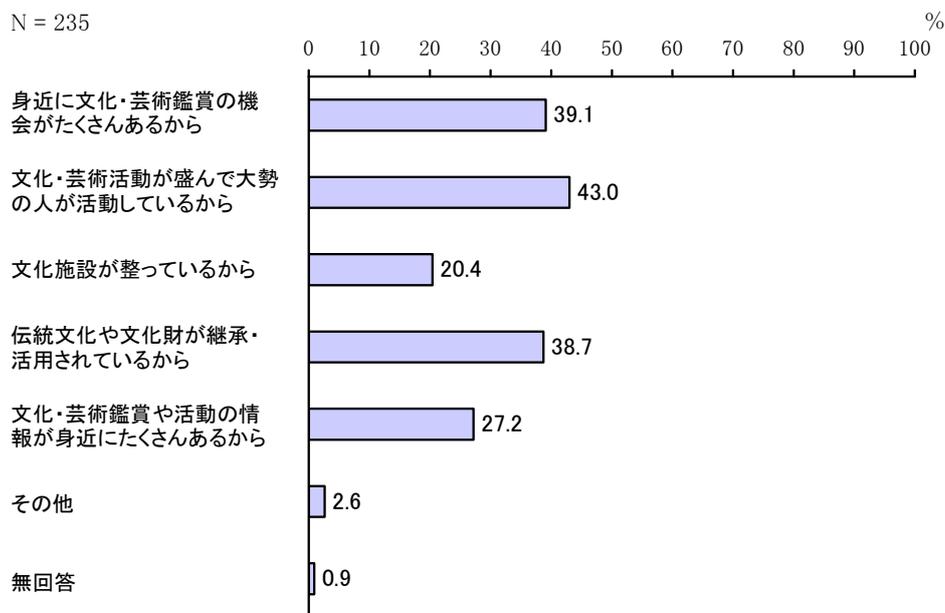
問5 あなたは、京田辺市は文化活動が盛んな街だと思いますか。(〇はひとつ)

「どちらともいえない」の割合が46.9%と最も高く、次いで「思わない」の割合が28.7%、「思う」の割合が23.2%となっています。



問5-1 問5で「1 思う」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「文化・芸術活動が盛んで大勢の人が活動しているから」の割合が43.0%と最も高く、次いで「身近に文化・芸術鑑賞の機会がたくさんあるから」の割合が39.1%、「伝統文化や文化財が継承・活用されているから」の割合が38.7%となっています。

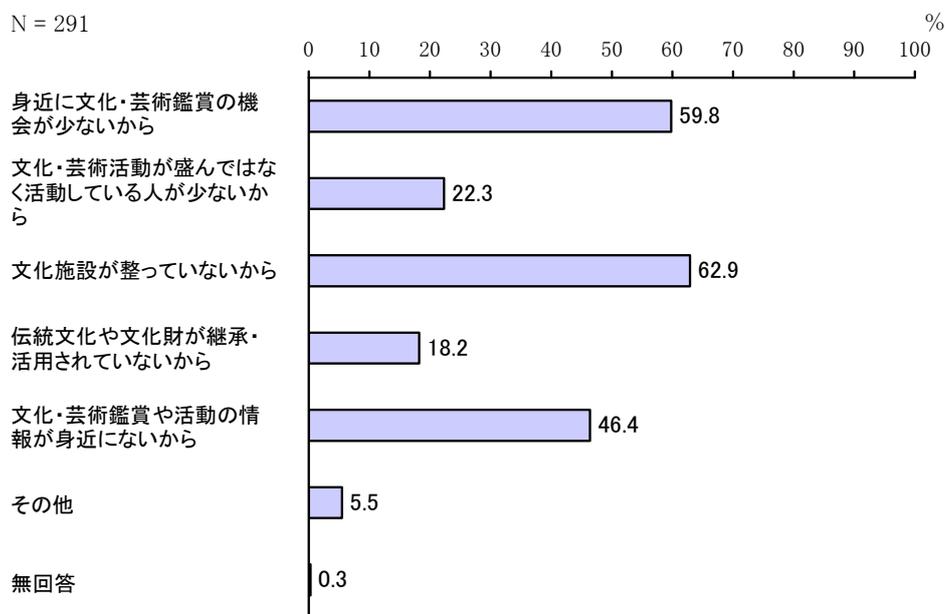


【その他の内容】

- ・趣味程度のサークルは多いし応援もしている。
- ・文化祭とかがあるから。
- ・公民館の教室へいろいろ行っているから。
- ・最近は同志社大学との協力関係は良いと思う。

**問5-2 問5で「2 思わない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)**

「文化施設が整っていないから」の割合が62.9%と最も高く、次いで「身近に文化・芸術鑑賞の機会が少ないから」の割合が59.8%、「文化・芸術鑑賞や活動の情報が身近にないから」の割合が46.4%となっています。

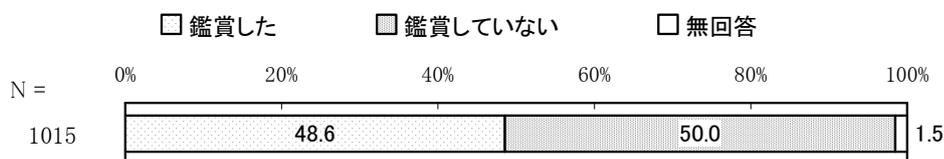


【その他の内容】

- ・行政の責任ではなく、住民が関心を持とうとしないから。
- ・活動されていることをあまり知らない（自分が調べないからあまりまだ興味を持ってない）。
- ・情報がないから。
- ・音楽ホール、コンサートホールがない。
- ・市が観光に目を向けないから。
- ・伝統文化や文化財はあるのに、それが活用されていない。知らない人も多い。
- ・京田辺市外へのPRをしていない様に思える。
- ・住民自身が、文化・芸術を求める体質では、まだない。街として、人としての成熟度がまだまだ幼い。

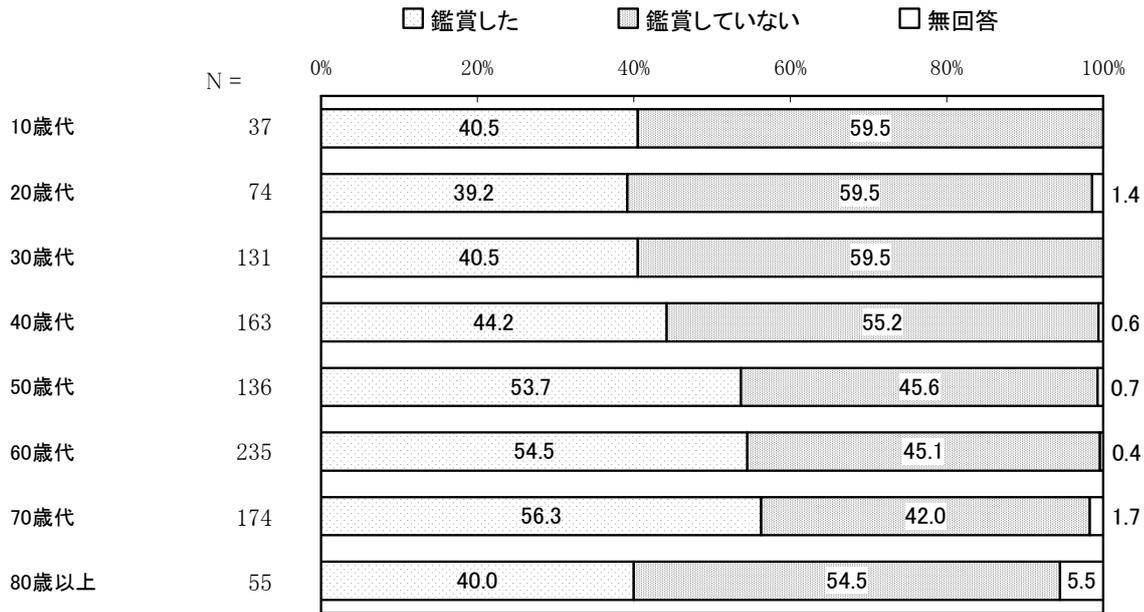
問6 あなたは、この1年間で、文化・芸術を鑑賞しましたか。(○はひとつ)

「鑑賞した」の割合が48.6%、「鑑賞していない」の割合が50.0%となっています。



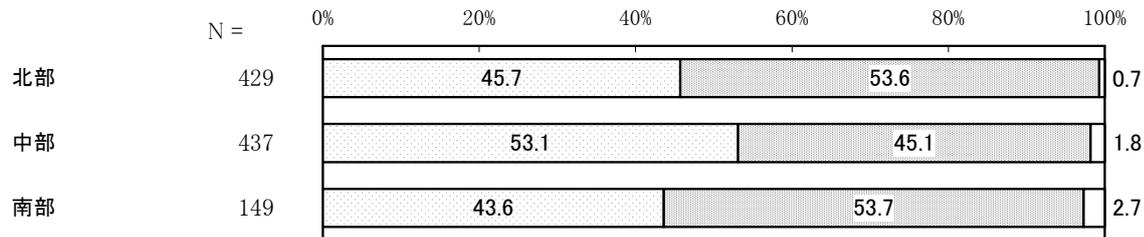
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなる程、「鑑賞した」の割合が高くなる傾向がみられます。



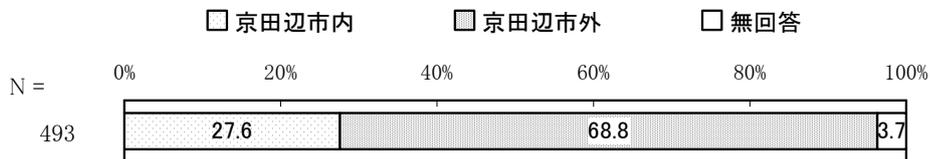
【地区別】

地区別でみると、中部で「鑑賞した」割合が高く、5割を超えています。



問6-1 問6で「1 鑑賞した」と答えた方にお聞きします。どの場所で最も多く鑑賞しましたか。(○はひとつ) また、具体的な場所・施設名をご記入ください。

「京田辺市内」の割合が27.6%、「京田辺市外」の割合が68.8%となっています。



【具体的な場所・施設名】

<京田辺市内>

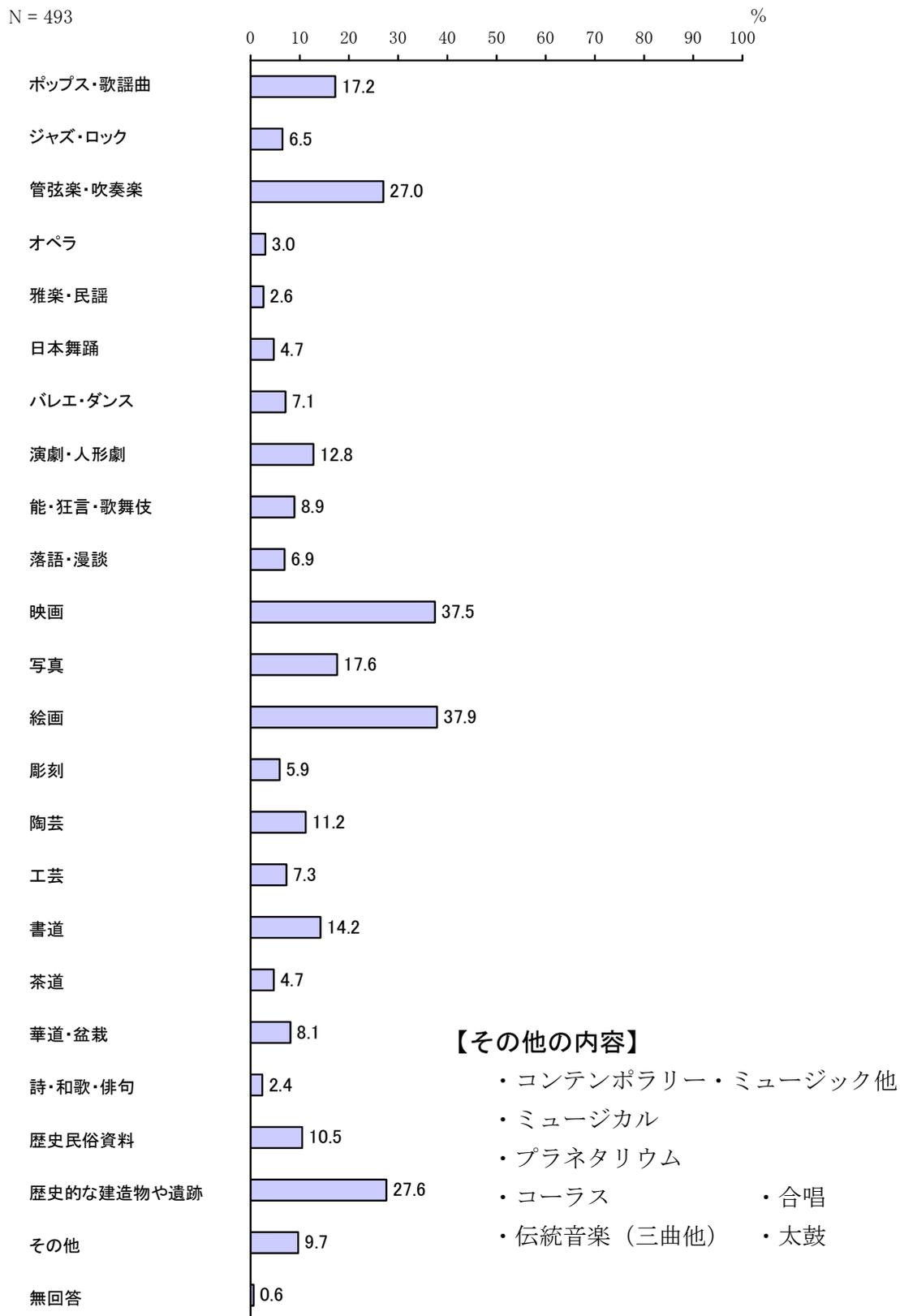
- ・コミュニティホール
- ・中央公民館
- ・中央図書館
- ・北部住民センター

<京田辺市外>

- ・京セラドーム
- ・京都コンサートホール
- ・京都市美術館
- ・文化パーク城陽
- など

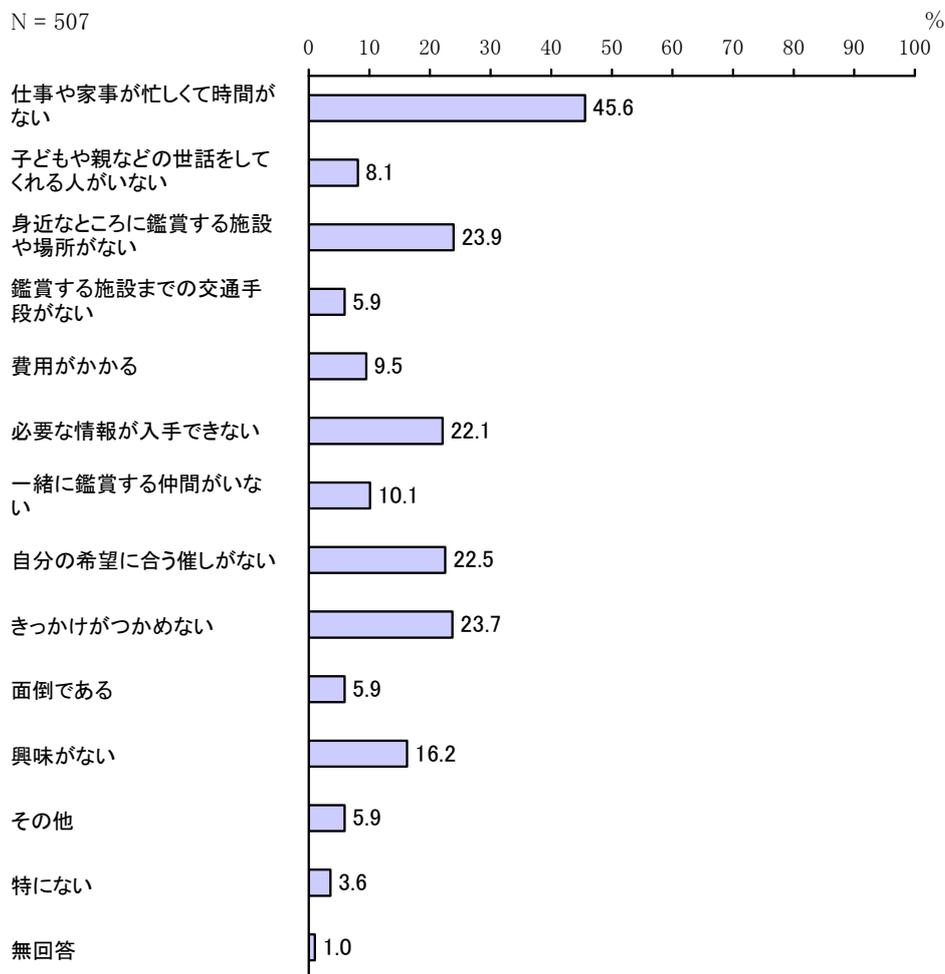
問6-2 問6で「1 鑑賞した」と答えた方にお聞きします。あなたが鑑賞した文化・芸術分野はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「絵画」の割合が37.9%と最も高く、次いで「映画」の割合が37.5%、「歴史的な建造物や遺跡」の割合が27.6%となっています。



問6-3 問6で「2 鑑賞していない」と答えた方にお聞きします。あなたが文化・芸術を鑑賞していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事や家事が忙しくて時間がない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「身近なところに鑑賞する施設や場所がない」の割合が23.9%、「きっかけがつかめない」の割合が23.7%となっています。

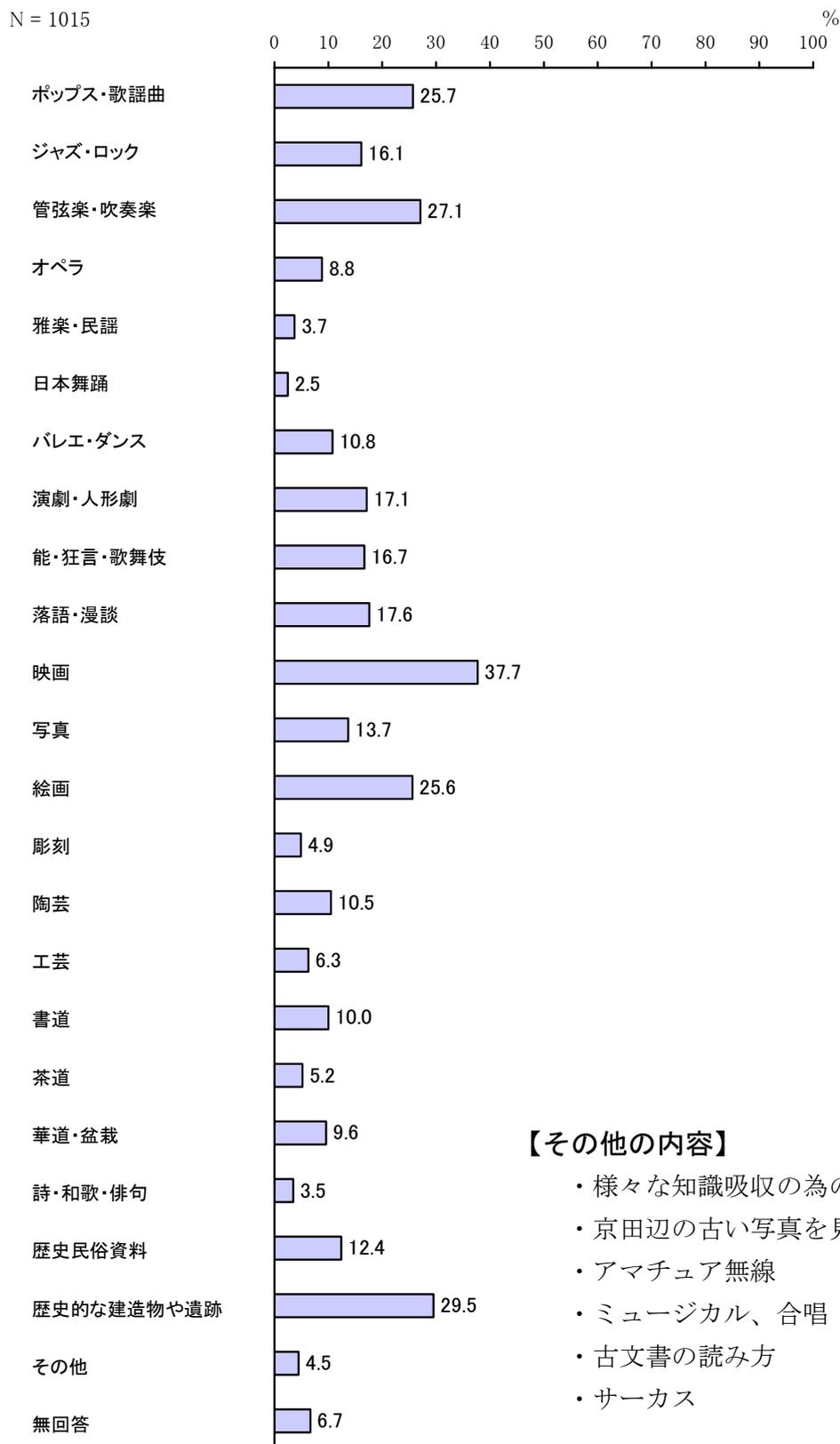


【その他の内容】

- ・病気で家にこもっている。
- ・TVやインターネットで見ている。
- ・駐車場が狭い。
- ・外出が出来ない。

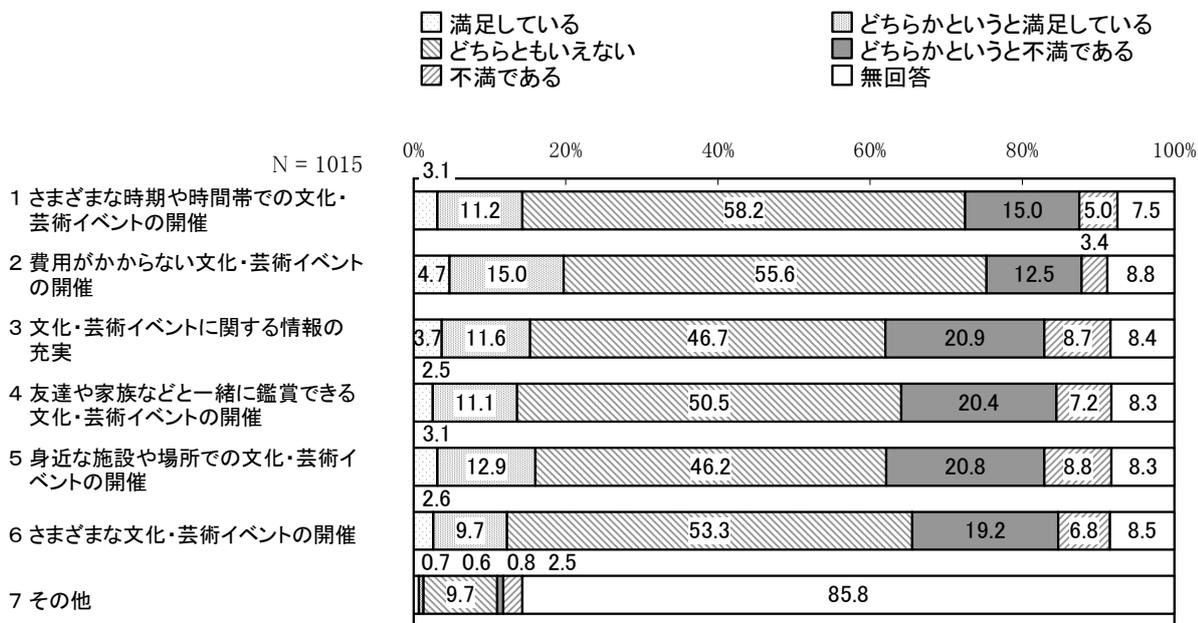
問7 あなたが今後鑑賞したい文化・芸術分野はどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

「映画」の割合が37.7%と最も高く、次いで「歴史的な建造物や遺跡」の割合が29.5%、「管弦楽・吹奏楽」の割合が27.1%となっています。



**問8 あなたは、京田辺市の文化・芸術鑑賞の環境に満足していますか。
(○はそれぞれひとつ)**

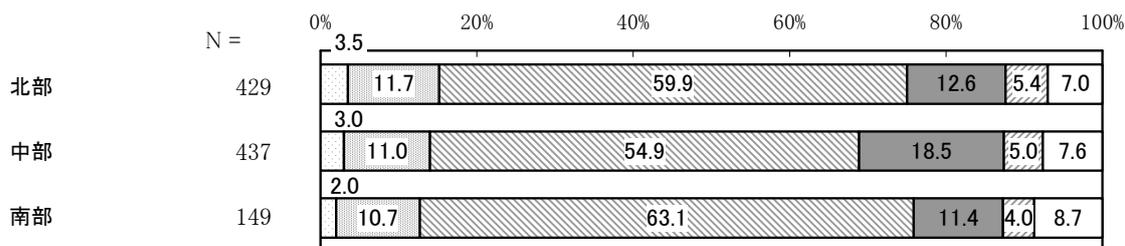
「満足している」と「どちらかという満足している」をあわせた“満足”はすべての項目で2割以下となっています。“満足”が最も高かった項目は「費用がかからない文化・芸術イベントの開催」で19.7%となっています。



【地区別】

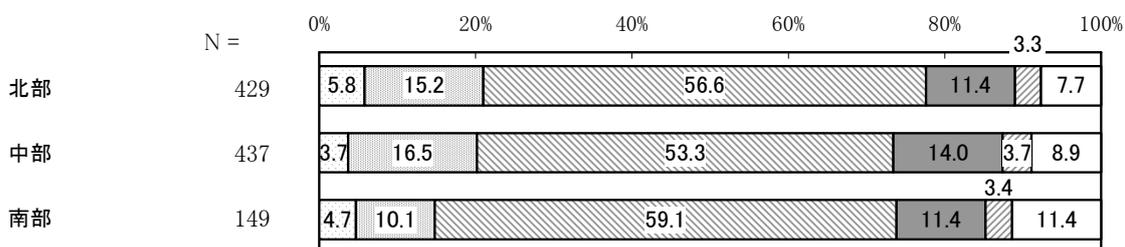
(1) さまざまな時期や時間帯での文化・芸術イベントの開催

地区別で見ると、3地区とも“満足”2割以下となっています。



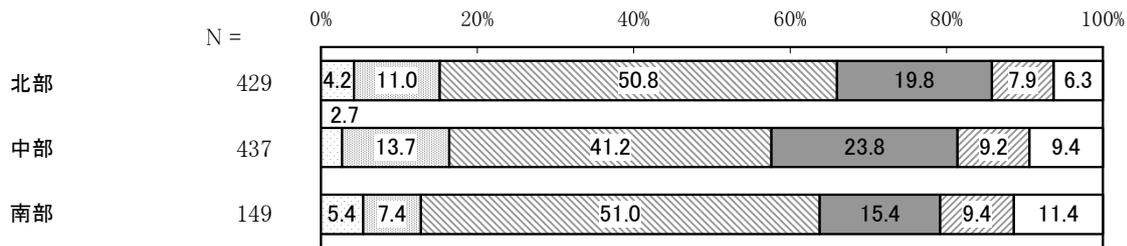
(2) 費用がかからない文化・芸術イベントの開催

地区別で見ると、北部、中部で南部に比べ“満足”の割合が比較的高く、北部では2割以上となっています。



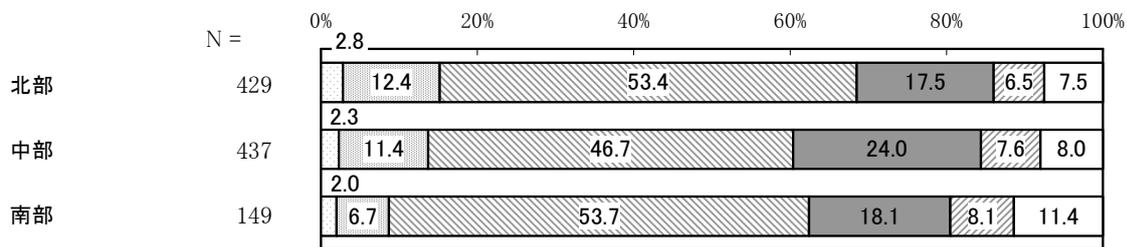
(3) 文化・芸術イベントに関する情報の充実

地区別でみると、3地区とも“満足”が2割以下となっています。



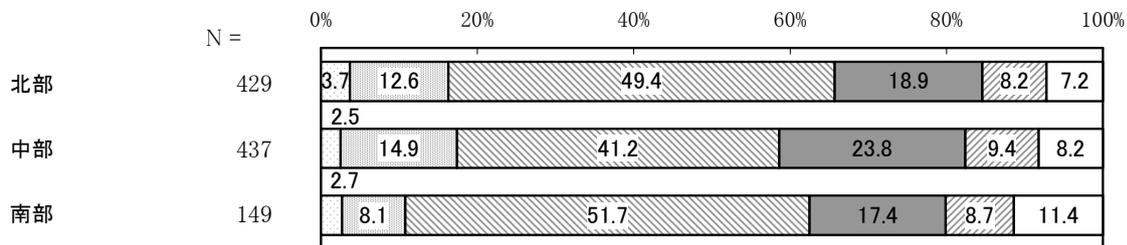
(4) 友達や家族などと一緒に鑑賞できる文化・芸術イベントの開催

地区別でみると、北部、中部で南部に比べ“満足”の割合が比較的高くなっています。



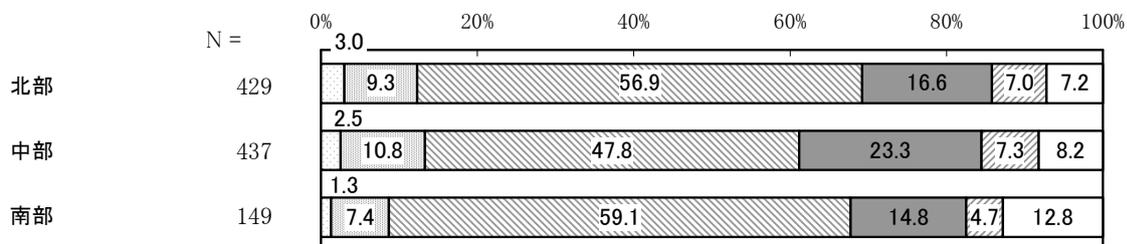
(5) 身近な施設や場所での文化・芸術イベントの開催

地区別でみると、北部、中部で南部に比べ“満足”の割合が比較的高くなっています。



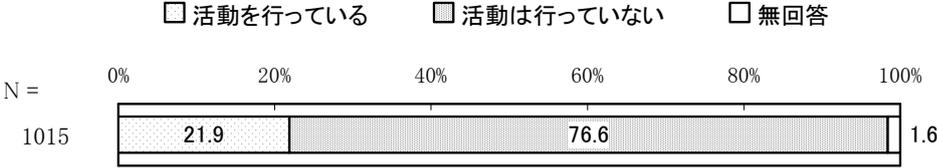
(6) さまざまな文化・芸術イベントの開催

地区別でみると、3地区ともに“満足”が1割程度となっています。



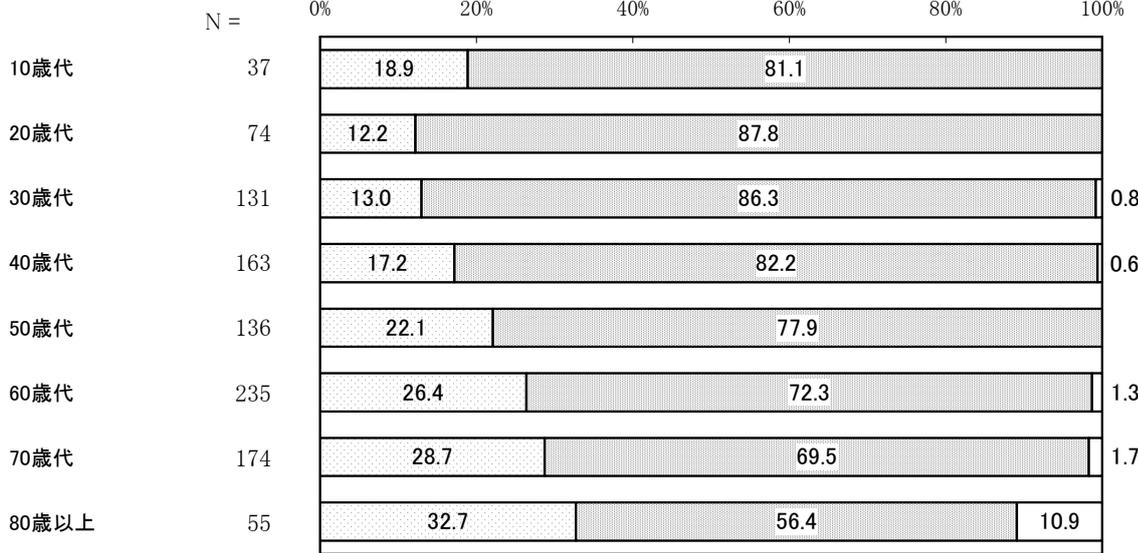
問9 あなたは、現在、文化・芸術活動を行っていますか。(〇はひとつ)

「活動は行っていない」の割合が76.6%、「活動を行っている」の割合が21.9%となっています。



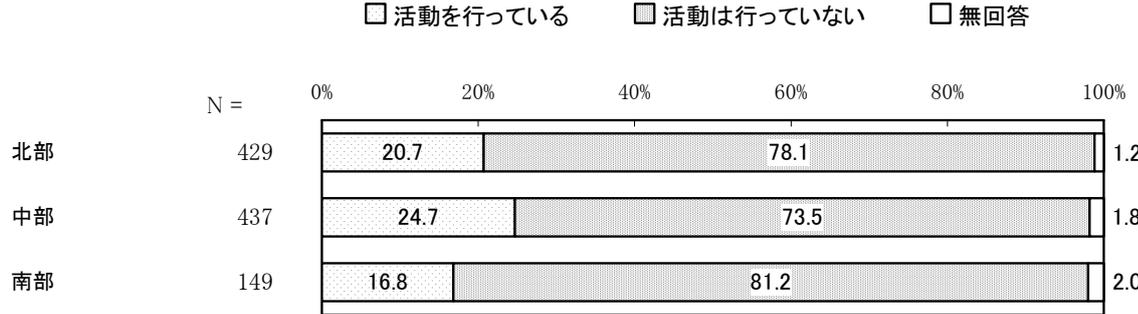
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなる程、「活動を行っている」の割合が高くなる傾向がみられます。



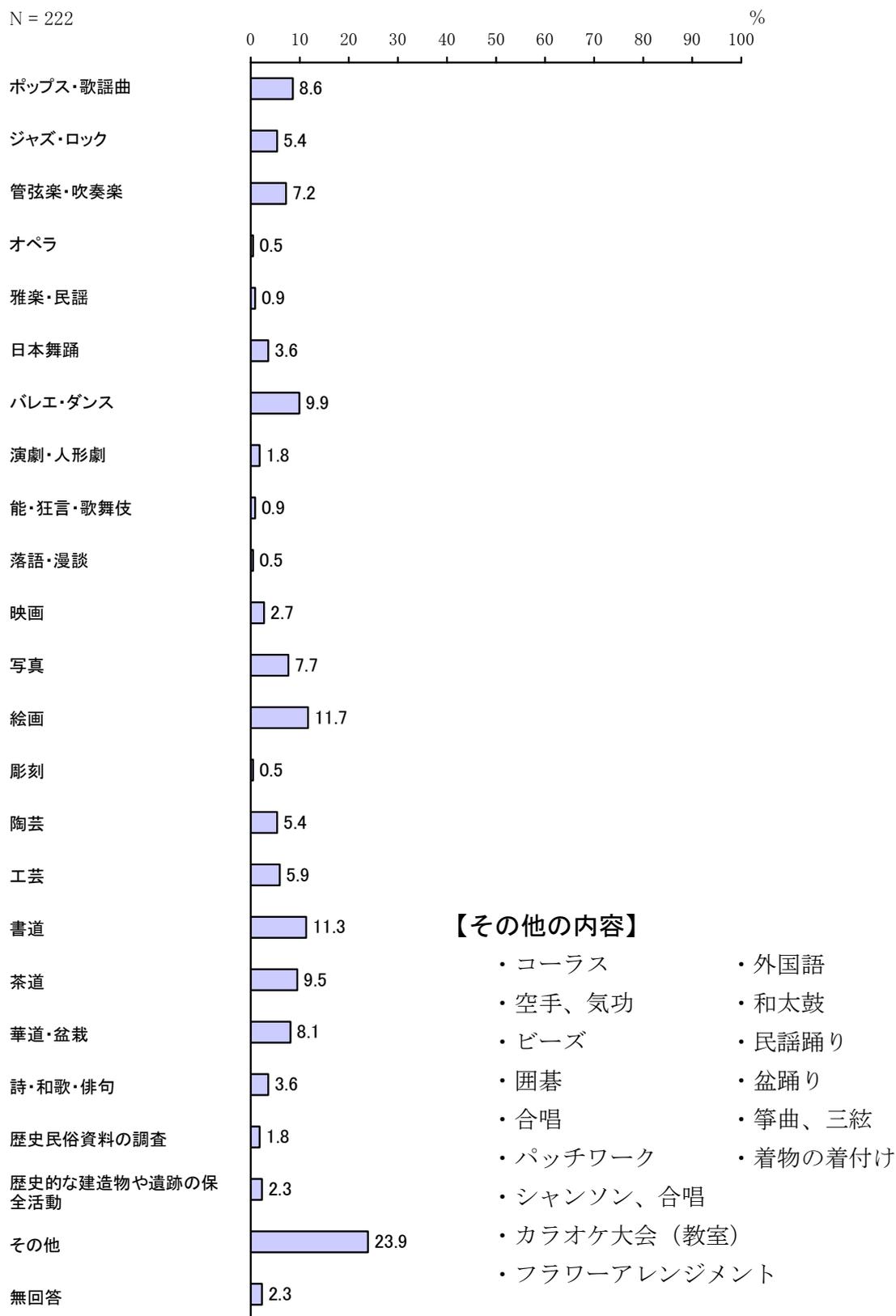
【地区別】

地区別でみると、中部で「活動を行っている」割合が比較的高くなっています。



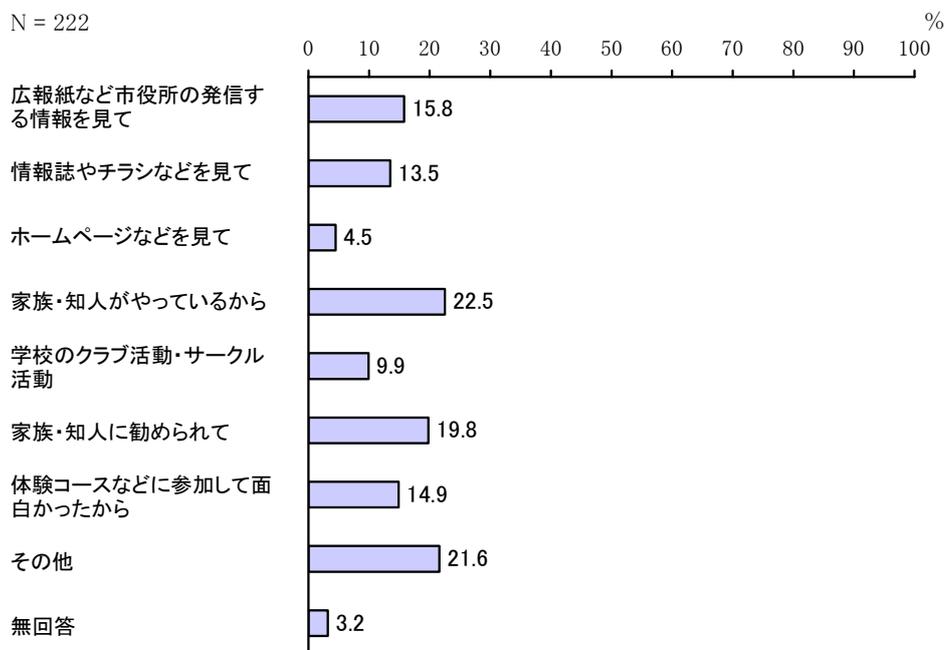
問9-1 問9で「1 活動を行っている」と答えた方にお聞きします。あなたが活動を行っている文化・芸術分野はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「絵画」の割合が11.7%と最も高く、次いで「書道」の割合が11.3%となっています。



問9-2 問9で「1 活動を行っている」と答えた方にお聞きします。あなたが文化・芸術活動を始めたきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族・知人がやっているから」の割合が22.5%と最も高く、次いで「家族・知人に勧められて」の割合が19.8%、「広報紙など市役所の発信する情報を見て」の割合が15.8%となっています。

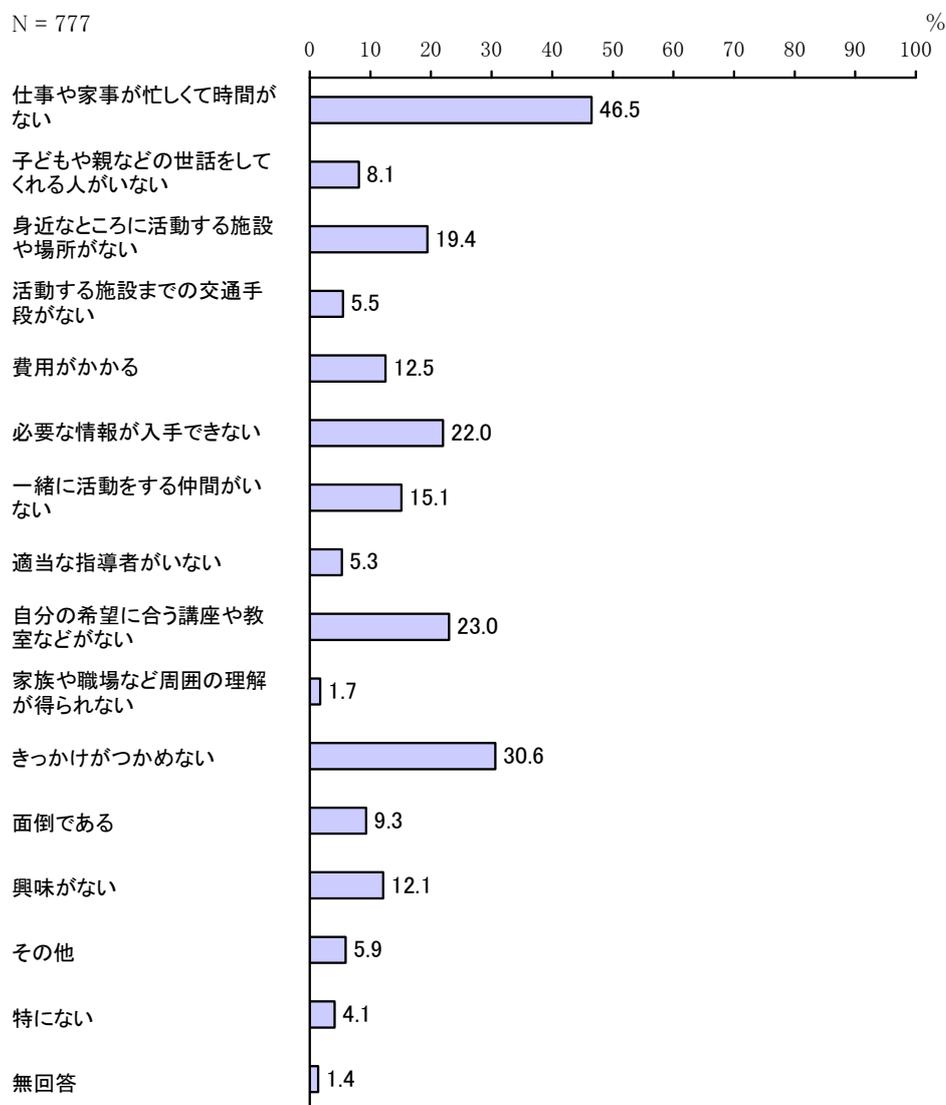


【その他の内容】

- ・演奏会に行って自分もしたくなったから。
- ・健康のため。
- ・もともと興味があったから。
- ・本を読んでずっと習いたいと思っていた。
- ・時間的余裕が出来れば行ってみたかった。
- ・幼い頃から好きだったので。
- ・自分達でチームを作って活動。
- ・学校の授業で取り組んでいる。

問9-3 問9で「2 活動は行っていない」と答えた方にお聞きします。あなたが文化・芸術活動を行っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事や家事が忙しくて時間がない」の割合が46.5%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」の割合が30.6%、「自分の希望に合う講座や教室などがない」の割合が23.0%となっています。

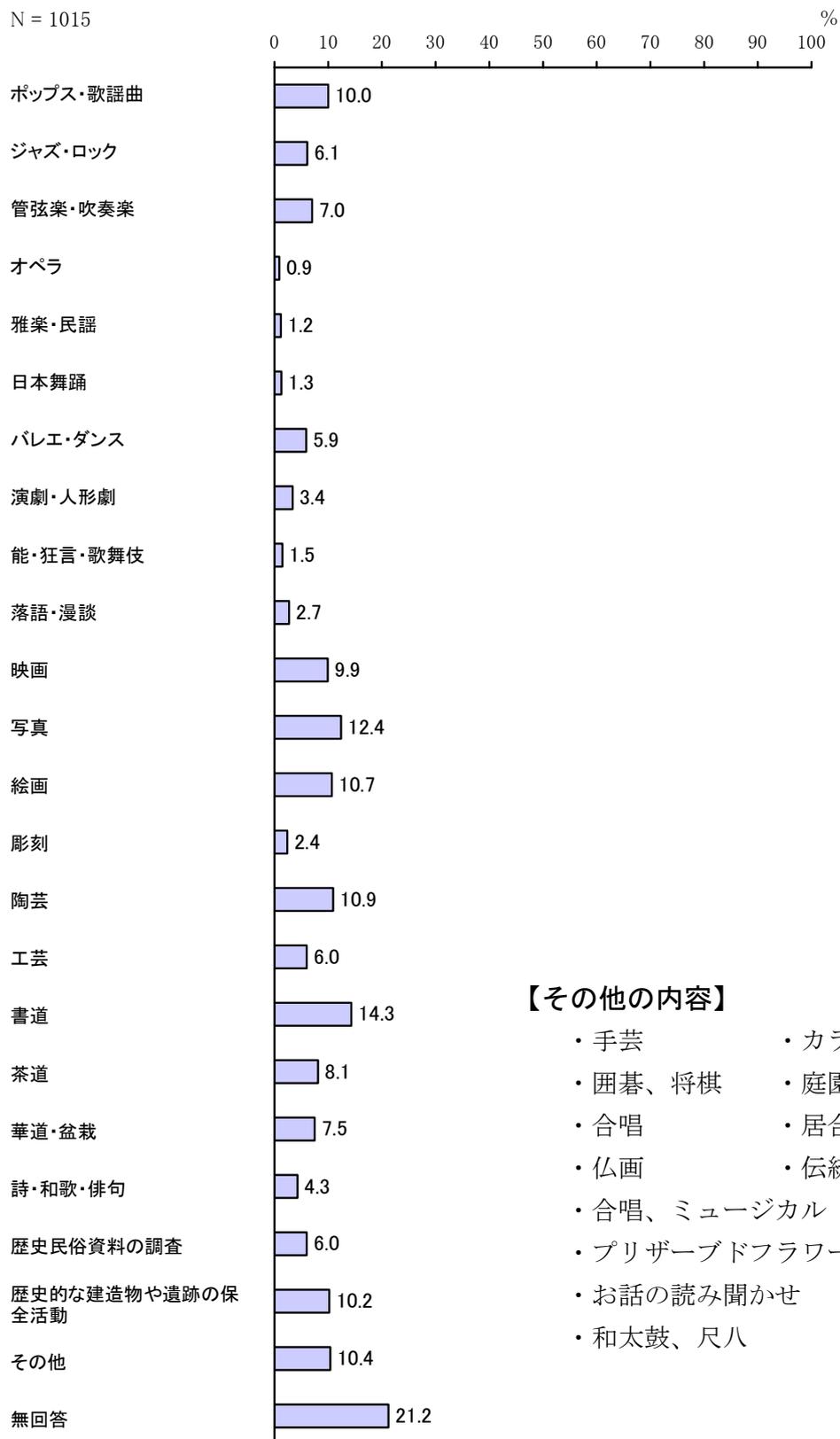


【その他の内容】

- ・見たりするのは好きだが自分がしたいとは思わない。
- ・親の介護で時間がない、
- ・学校のクラブ活動があるから。
- ・曜日、時間が調節出来ない。

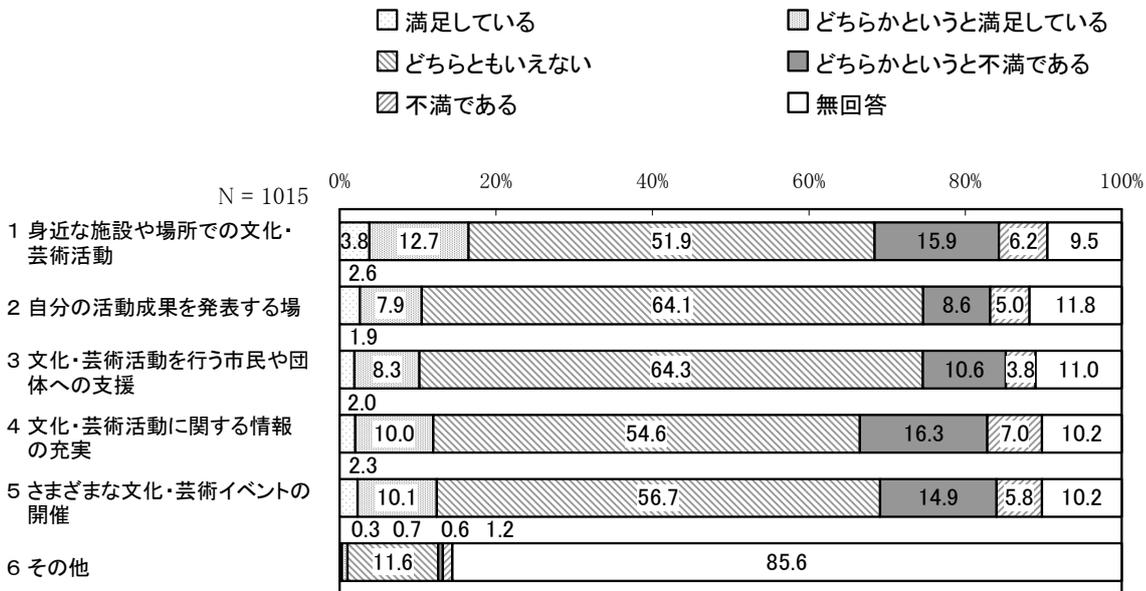
問10 あなたが今後活動したい文化・芸術分野はどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

「書道」の割合が14.3%と最も高く、次いで「写真」の割合が12.4%、「陶芸」の割合が10.9%となっています。



問 11 あなたは、京田辺市の文化・芸術活動を行う環境に満足していますか。
(○はそれぞれひとつ)

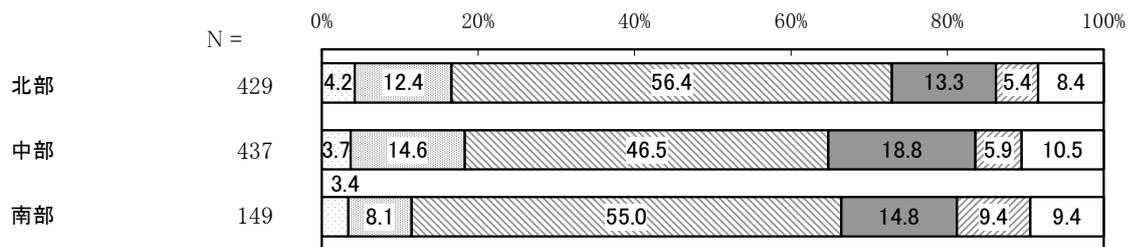
「満足している」と「どちらかという満足している」をあわせた“満足”はすべての項目で2割以下となっています。また、すべての項目で「どちらかという不満である」と「不満である」をあわせた“不満”の割合が、“満足”よりも高くなっています。



【地区別】

(1) 身近な施設や場所での文化・芸術活動

地区別でみると、北部、中部で南部に比べ“満足”の割合が高くなっています。



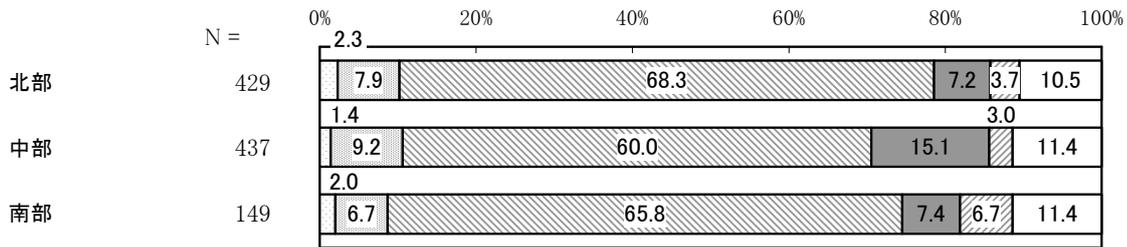
(2) 自分の活動成果を発表する場

大きな差異はみられません。



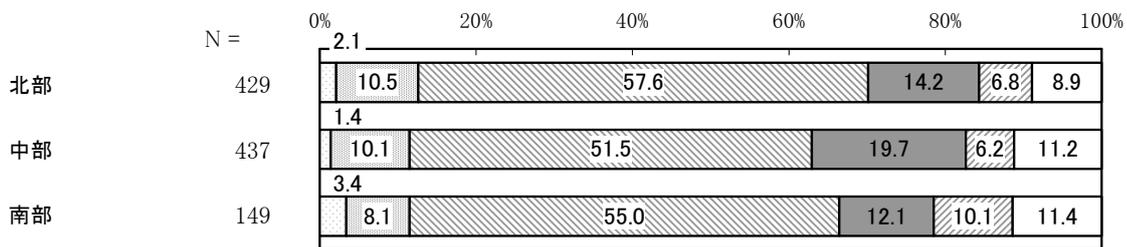
(3) 文化・芸術活動を行う市民や団体への支援

地区別で見ると、中部で“不満”の割合が比較的高く、約2割となっています。



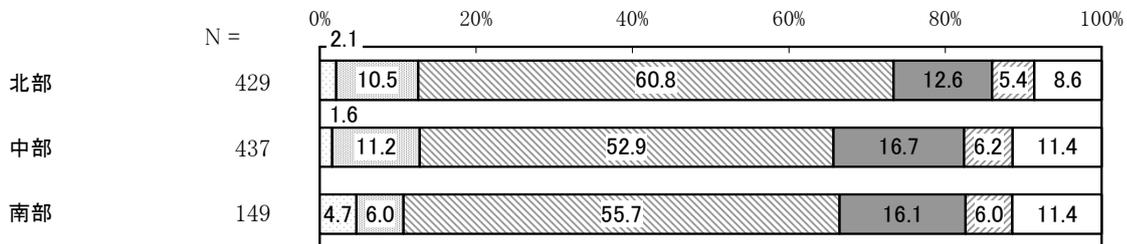
(4) 文化・芸術活動に関する情報の充実

地区別で見ると、中部で“不満”の割合が比較的高く、約3割となっています。



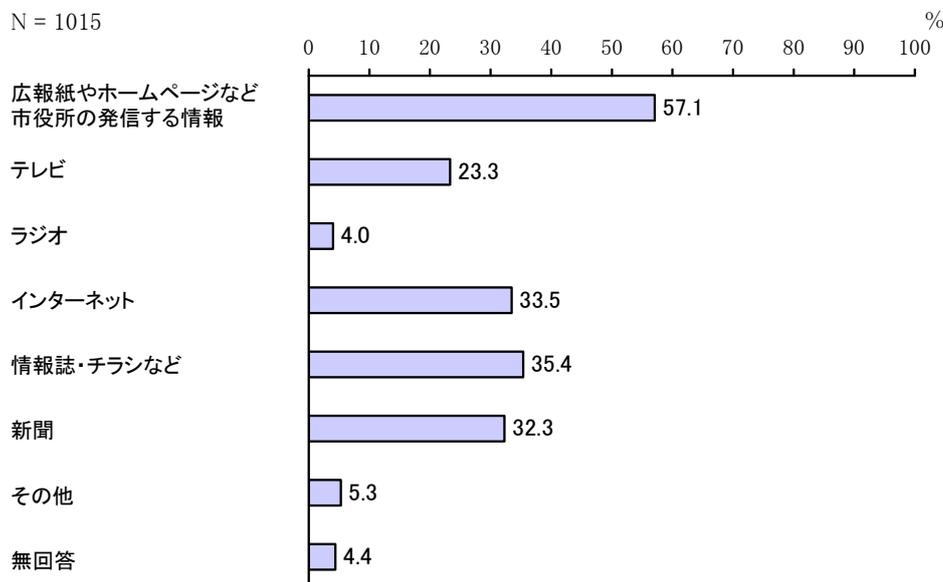
(5) さまざまな文化・芸術イベントの開催

地区別で見ると、中部、南部で“不満”の割合が比較的高く、2割を超えています。



問 12 あなたは、文化・芸術に関する情報をどのような媒体から得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「広報紙やホームページなど市役所の発信する情報」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「情報誌・チラシなど」の割合が 35.4%、「インターネット」の割合が 33.5%となっています。



【その他の内容】

- ・ 口コミ
- ・ 電車広告
- ・ ポスター
- ・ 町内掲示板

【年代別】

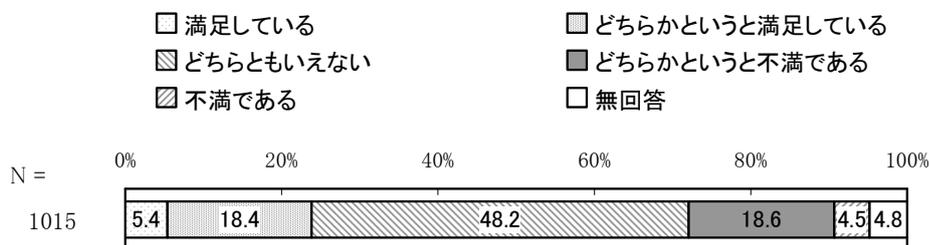
年代別で見ると、20 歳代以下で「インターネット」、30 歳代以上で「広報紙やホームページなど市役所の発信する情報」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	広報紙やホームページなど市役所の発信する情報	テレビ	ラジオ	インターネット	情報誌・チラシなど	新聞	その他	無回答
10 歳代	37	29.7	27.0	—	51.4	32.4	10.8	2.7	—
20 歳代	74	36.5	20.3	—	56.8	36.5	17.6	12.2	1.4
30 歳代	131	57.3	19.8	2.3	47.3	41.2	16.0	3.8	3.1
40 歳代	163	60.7	22.7	4.9	46.6	33.7	26.4	3.7	1.2
50 歳代	136	57.4	25.0	2.2	41.9	35.3	31.6	6.6	2.2
60 歳代	235	66.8	22.6	5.1	23.4	43.0	40.0	4.7	3.0
70 歳代	174	59.2	28.2	6.3	13.8	28.7	48.9	5.2	8.0
80 歳以上	55	47.3	20.0	5.5	3.6	14.5	38.2	5.5	21.8

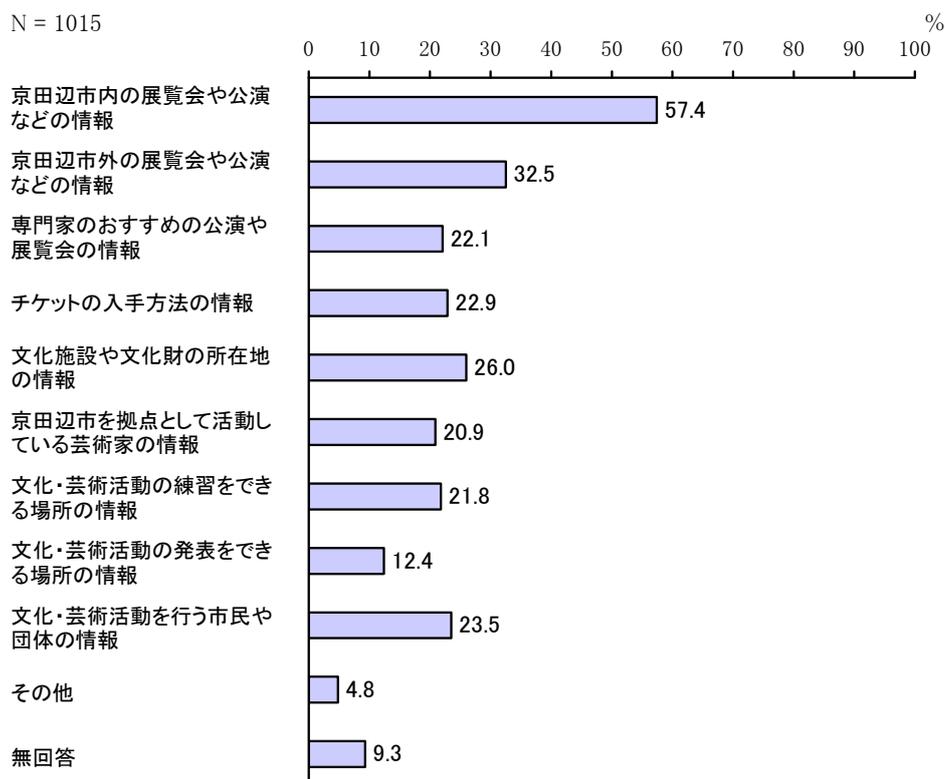
問 13 あなたは、市（行政）の文化・芸術に関する情報提供について、満足していますか。（○はひとつ）

「どちらかという不満である」の割合が 18.6%、「どちらかという満足している」の割合が 18.4%となっています。



問 14 あなたは、どのような情報があればもっと文化・芸術活動を行ったり、鑑賞したりすることができると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「京田辺市内の展覧会や公演などの情報」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「京田辺市外の展覧会や公演などの情報」の割合が 32.5%、「文化施設や文化財の所在地の情報」の割合が 26.0%となっています。

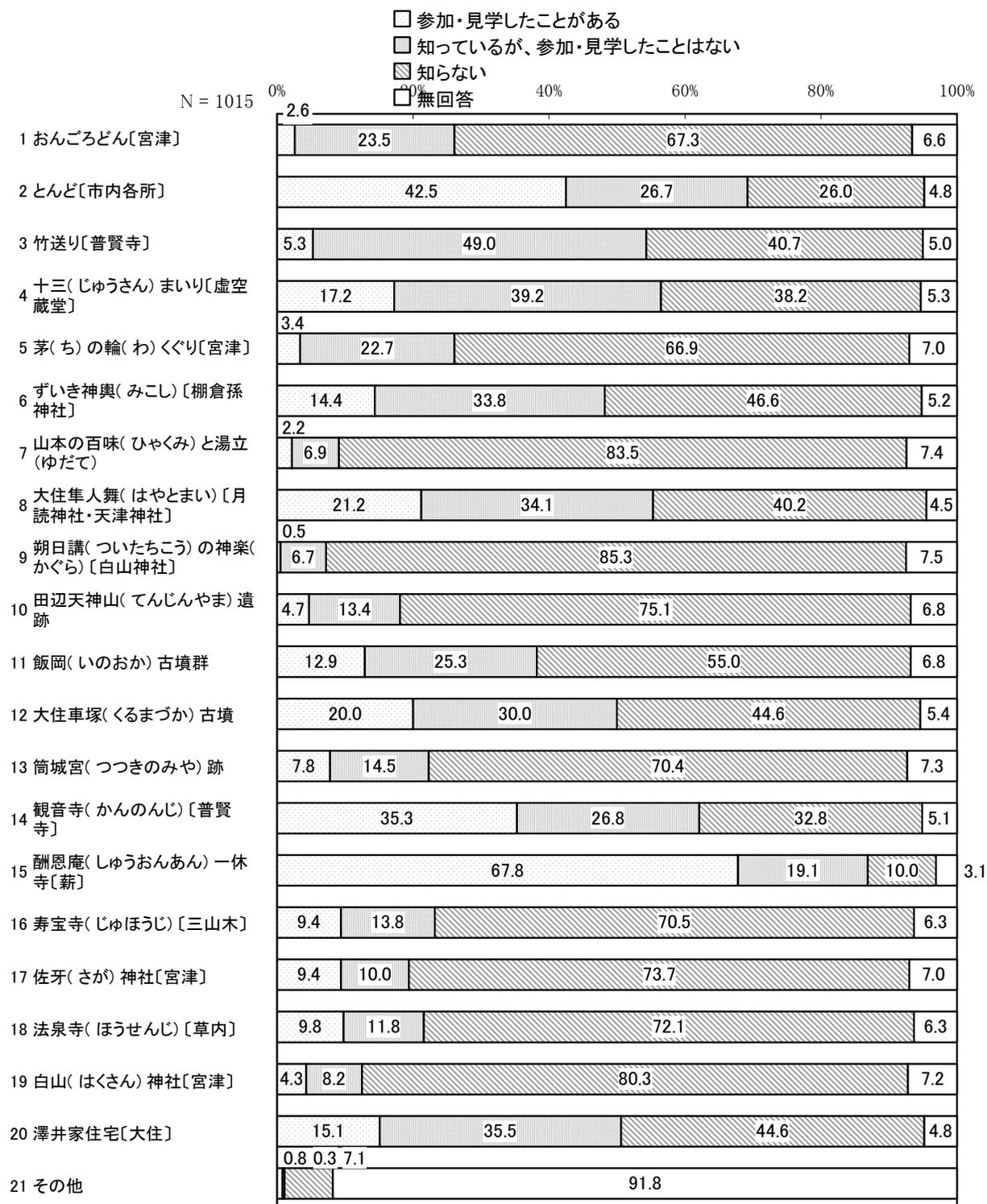


【その他の内容】

- ・ 自分の子供の絵などが展示されている情報
- ・ 京田辺市のコミュニティホール、イベントの開催できる場所（市役所も含め）
- ・ 市内の文化財に関するボランティアの情報
- ・ 土、日に参加出来る活動

問 15 あなたは、下記の京田辺市の伝統文化や文化財をご存知ですか。また、参加・見学したことがありますか。(あてはまるものそれぞれに○)

「参加・見学したことがある」の割合は、酬恩庵一休寺で最も高くなっています。

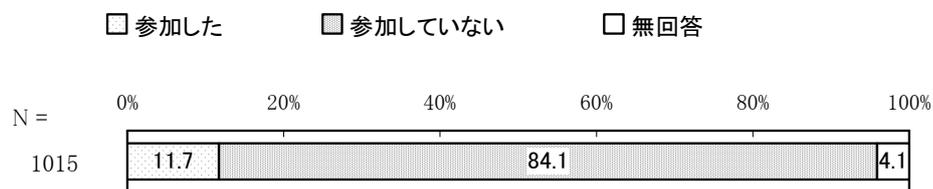


【その他の内容】

- ・西光寺
- ・酒屋神社(興戸)
- ・同志社下司古墳
- ・近衛基通墓
- ・古墳時代の出土品
- ・神奈備神社
- ・甘南備山
- ・朱智神社

問 16 あなたは、この1年間で、地域の伝統文化行事に参加しましたか。(〇はひとつ) また、参加したことがある方は、具体的な行事名をご記入ください。

「参加した」の割合が11.7%、「参加していない」の割合が84.1%となっています。

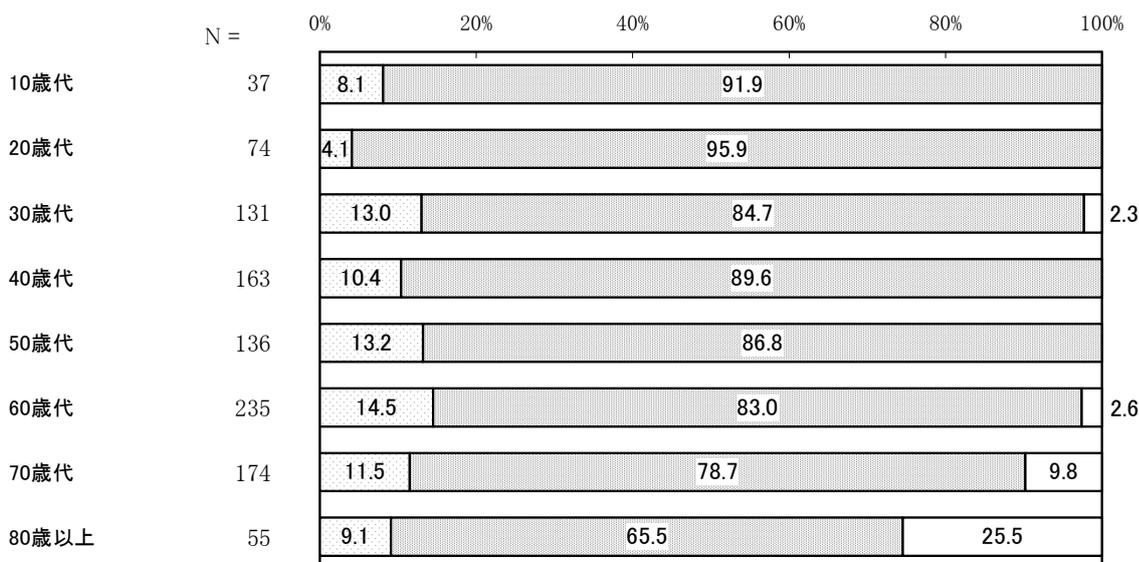


【具体的な行事名】

- ・ ずいき御輿
- ・ とんど
- ・ 大住隼人舞

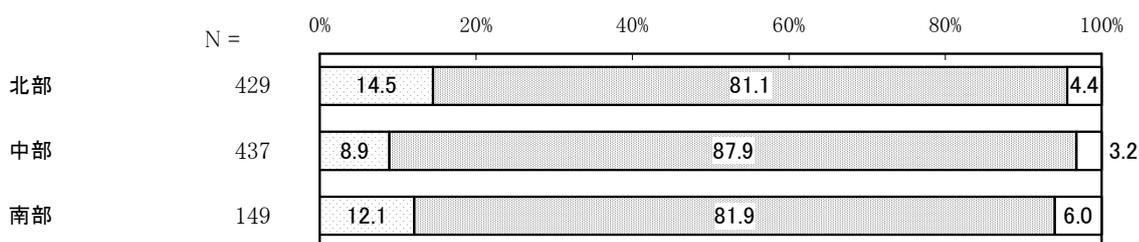
【年代別】

年代別でみると、10歳代、20歳代で「参加していない」の割合が高く、9割を超えています。



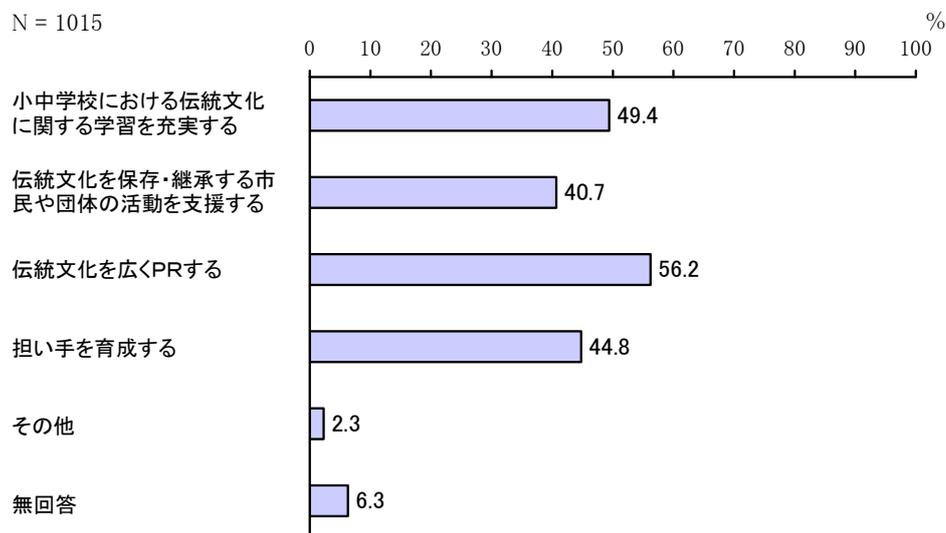
【地区別】

地区別でみると、中部で「参加した」の割合が1割未満と低くなっています。



問 17 あなたは、地域の伝統文化を継承していくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「伝統文化を広くPRする」の割合が56.2%と最も高く、次いで「小中学校における伝統文化に関する学習を充実する」の割合が49.4%、「担い手を育成する」の割合が44.8%となっています。

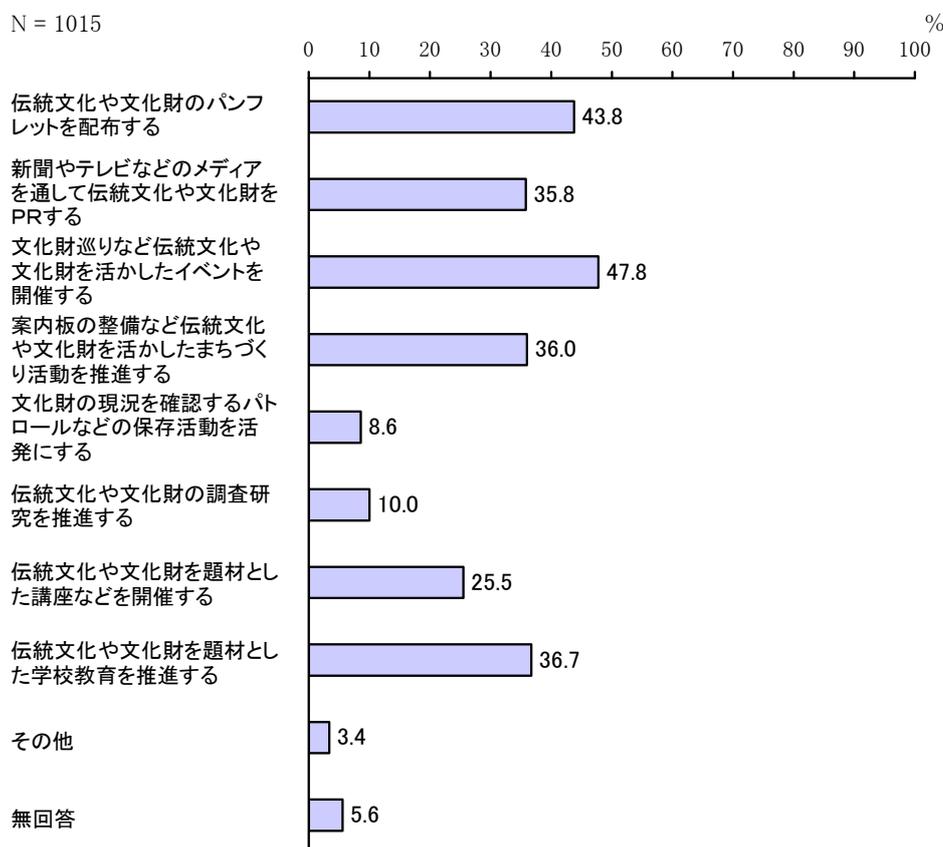


【その他の内容】

- ・若者の興味との融合。寺のライトアップなど。
- ・小中学校で伝承者に話してもらい身近に感じてもらう。
- ・京田辺市役所に観光課の創設。
- ・人の集まれる環境を整えること。
- ・若者が興味を持って参加できるような工夫。
- ・新しい文化の育成。
- ・地域の伝統文化を通じて、地域の人同士の結びつきが強くなる。そのことに熱を注げる心意気。世代を超えた交流。

問 18 あなたは、市民のみなさんが地域の伝統文化や文化財に興味を持つためには、どんな取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「文化財巡りなど伝統文化や文化財を活かしたイベントを開催する」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「伝統文化や文化財のパンフレットを配布する」の割合が 43.8%、「伝統文化や文化財を題材とした学校教育を推進する」の割合が 36.7%となっています。

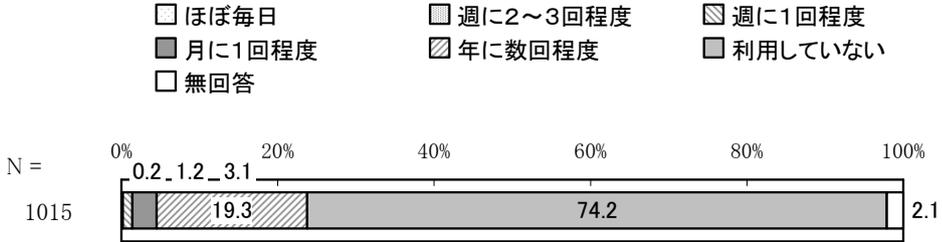


【その他の内容】

- ・若者を対象としたイベント等の開催。
- ・ネット社会の利点を生かす。
- ・活動を広めるための側面支援を行政が積極的にすること。フリーの掲示板を市内にたくさん設置して欲しい。
- ・京田辺市の文化等に対し、その魅力を子供に伝えて頂き、子供が興味をもち親と一緒に参加できると良いのではないのでしょうか。
- ・体験型のイベントや講座があると良いのでは。
- ・観光がまちづくりに必要なことをPRする。
- ・時節ごとの行事や祭祀などについて記した本（歳時記）によるPR。
- ・自治会との連携による参加者拡大。
- ・京田辺市内の伝統文化や文化財収録DVDを作成し、貸出す。

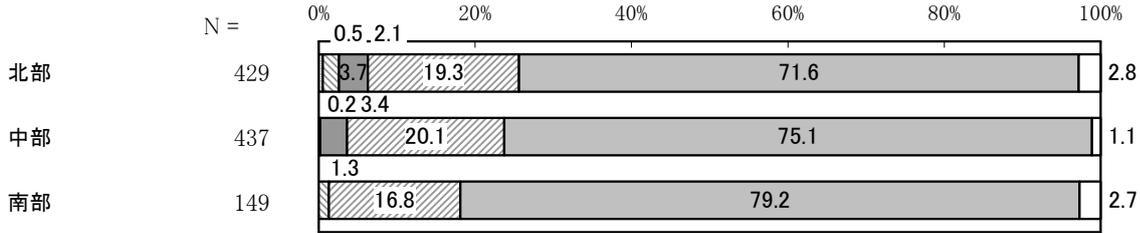
問 19 あなたは、この1年間に京田辺市立中央公民館を文化・芸術鑑賞や活動でどの程度利用しましたか。(〇はひとつ)

「利用していない」の割合が74.2%と最も高く、次いで「年に数回程度」の割合が19.3%となっています。



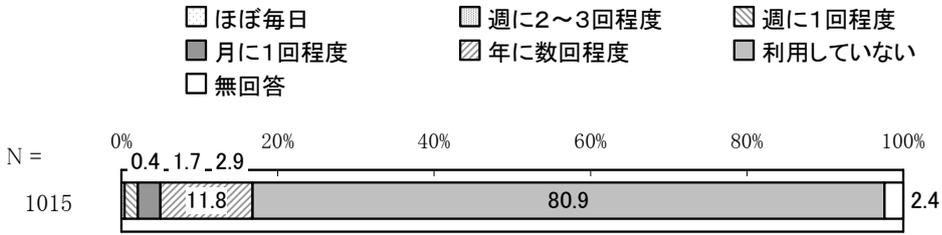
【地区別】

大きな差異はみられません。



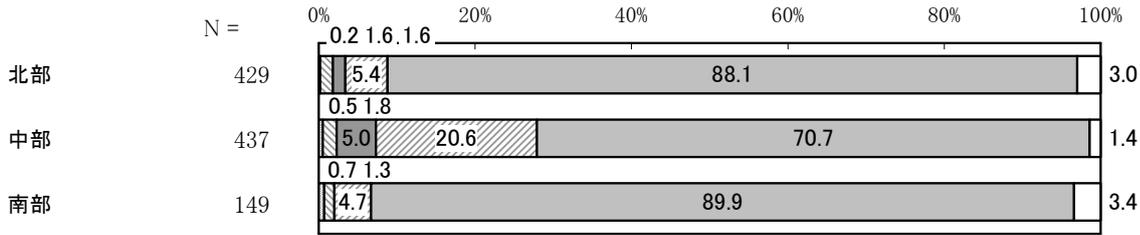
問 20 あなたは、この1年間に京田辺市立北部住民センターを文化・芸術鑑賞や活動でどの程度利用しましたか。(○はひとつ。図書館の利用は除く。)

「利用していない」の割合が80.9%と最も高く、次いで「年に数回程度」の割合が11.8%となっています。



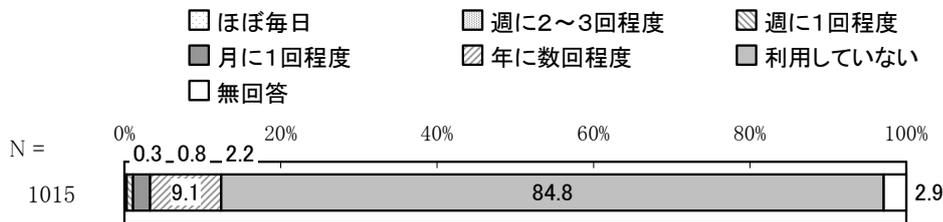
【地区別】

地区別で見ると、中部で「年に数回程度」の割合が高く、約2割となっています。



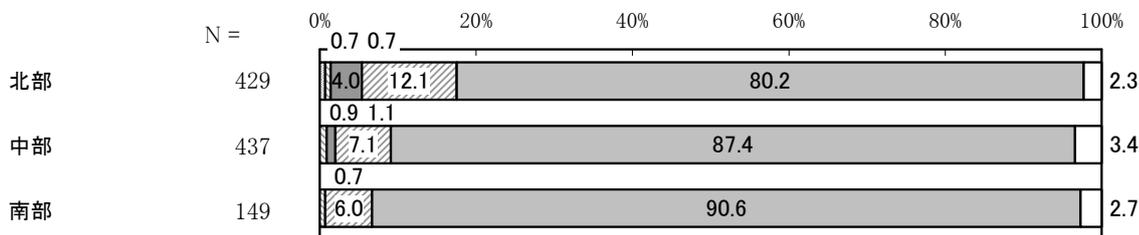
問 21 あなたは、この1年間に京田辺市立中部住民センターを文化・芸術鑑賞や活動でどの程度利用しましたか。(○はひとつ。図書館の利用は除く。)

「利用していない」の割合が84.8%と最も高くなっています。



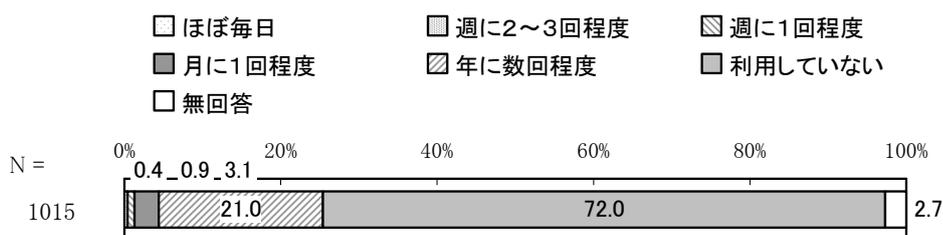
【地区別】

地区別でみると、南部で「利用していない」の割合が最も高く、約9割となっています。



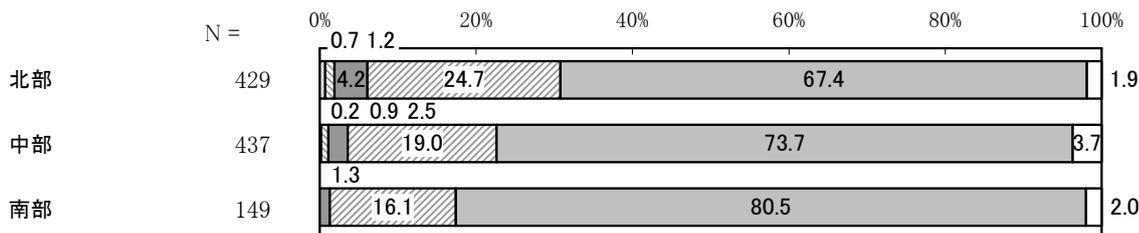
問 22 あなたは、この1年間に京田辺市立中央図書館のギャラリーや会議室を文化・芸術鑑賞や活動でどの程度利用しましたか。(○はひとつ)

「利用していない」の割合が72.0%と最も高く、次いで「年に数回程度」の割合が21.0%となっています。



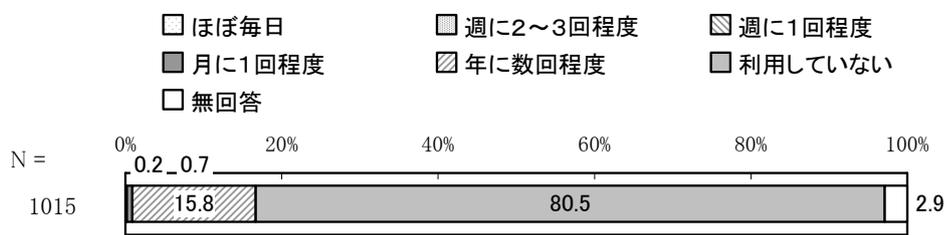
【地区別】

地区別でみると、南部で「利用していない」の割合が最も高く、約8割となっています。



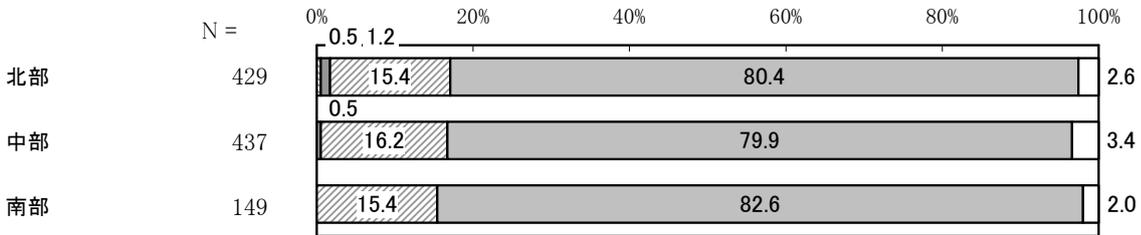
問 23 あなたは、この1年間に京田辺市コミュニティホールを文化・芸術鑑賞や活動でどの程度利用しましたか。(〇はひとつ)

「利用していない」の割合が80.5%と最も高く、次いで「年に数回程度」の割合が15.8%となっています。



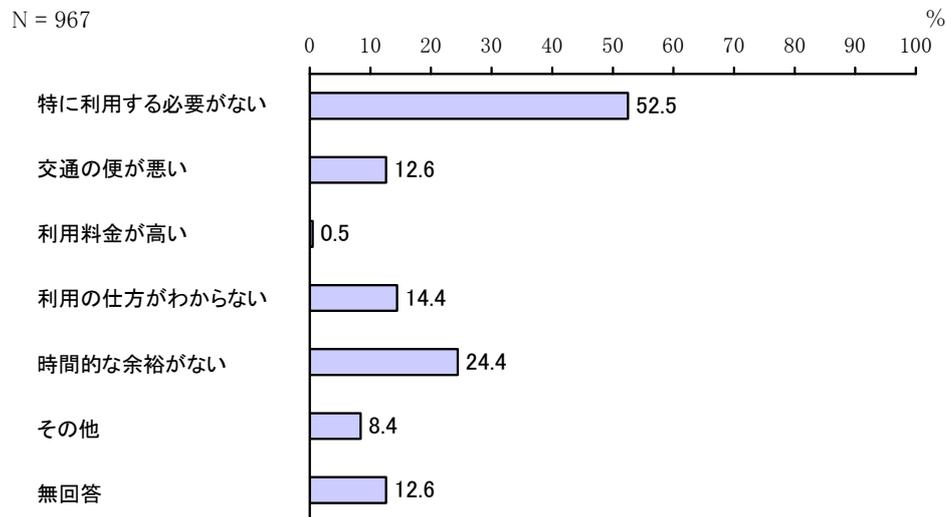
【地区別】

大きな差異はみられません。



問 24 問 19～問 23 でひとつでも「6 利用していない」と答えた方にお聞きします。あなたが、利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「特に利用する必要がない」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「時間的な余裕がない」の割合が 24.4%、「利用の仕方がわからない」の割合が 14.4%となっています。

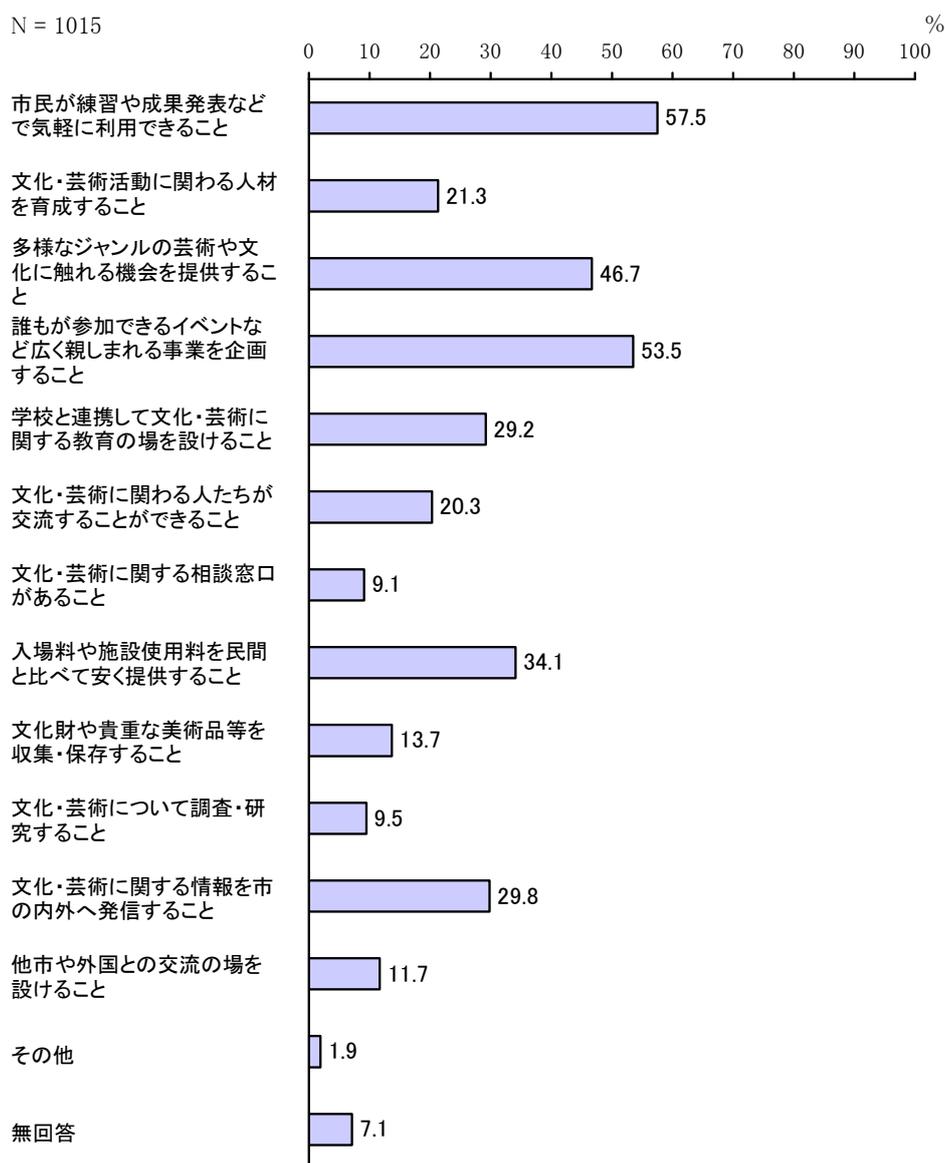


【その他の内容】

- ・何をしているのか情報が入ってこない。
- ・興味のあるものがない。
- ・休日しか利用できない上、子連れでは難しい。
- ・勤めていて土日しか休みがないので利用する機会がない。
- ・場所がわからない。
- ・駐車場に限りがある。
- ・予約の仕方が簡単でない。
- ・仲間うちの集まりやお年寄のたまり場になっていて入りづらい場所もある。
- ・芸術鑑賞をするには設備・音響などの環境が悪い。

問 25 あなたが、「公立」の文化施設の役割として重要だと思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「市民が練習や成果発表などで気軽に利用できること」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「誰もが参加できるイベントなど広く親しまれる事業を企画すること」の割合が 53.5%、「多様なジャンルの芸術や文化に触れる機会を提供すること」の割合が 46.7%となっています。



【その他の内容】

- ・ 利用料減免等を止め、設備の充実に充てるべきである。
- ・ 興味をもてる内容であること。
- ・ 交通の便が悪い、市の中心部に移す。
- ・ わかりやすい情報。
- ・ 多機能を求めると中途半端になってしまう。役割を絞るべき。
- ・ インターネットで空き情報を見て簡単に予約できるようにすること。

【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「市民が練習や成果発表などで気軽に利用できること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市民が練習や成果発表などで気軽に利用できること	文化・芸術活動に関わる人材を育成すること	多様なジャンルの芸術や文化に触れる機会を提供すること	誰もが参加できるイベントなど広く親しまれる事業を企画すること	学校と連携して文化・芸術に関する教育の場を設けること	文化・芸術に関わる人たちが交流することができること	文化・芸術に関する相談窓口があること	入場料や施設使用料を民間と比べて安く提供すること	文化財や貴重な美術品等を収集・保存すること	文化・芸術について調査・研究すること	文化・芸術に関する情報を市内外へ発信すること	他市や外国との交流の場を設けること	その他	無回答
10歳代	37	70.3	2.7	48.6	45.9	32.4	16.2	8.1	35.1	13.5	5.4	10.8	10.8	—	—
20歳代	74	64.9	27.0	44.6	56.8	39.2	29.7	9.5	31.1	13.5	5.4	31.1	14.9	2.7	1.4
30歳代	131	60.3	19.1	53.4	58.0	38.9	20.6	9.2	37.4	10.7	8.4	21.4	11.5	—	2.3
40歳代	163	60.1	21.5	48.5	56.4	38.7	18.4	7.4	43.6	10.4	8.6	28.2	13.5	3.1	2.5
50歳代	136	60.3	21.3	58.1	51.5	33.1	22.1	7.4	38.2	15.4	11.8	33.8	13.2	2.9	2.2
60歳代	235	54.0	21.7	48.9	56.6	22.1	18.7	9.4	33.6	15.7	11.5	34.5	9.4	1.3	7.2
70歳代	174	56.3	23.0	38.5	53.4	19.0	21.8	10.3	28.7	14.9	9.2	33.3	11.5	1.1	13.8
80歳以上	55	38.2	21.8	18.2	27.3	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	7.3	18.2	3.6	5.5	32.7

【地区別】

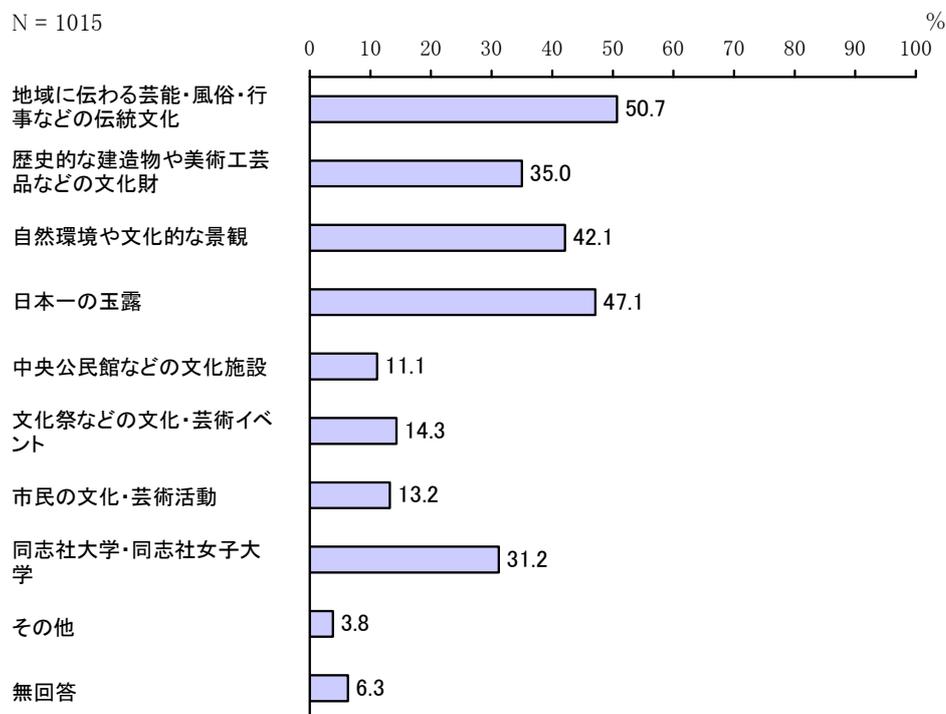
地区別でみると、中部、北部で「市民が練習や成果発表などで気軽に利用できること」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市民が練習や成果発表などで気軽に利用できること	文化・芸術活動に関わる人材を育成すること	多様なジャンルの芸術や文化に触れる機会を提供すること	誰もが参加できるイベントなど広く親しまれる事業を企画すること	学校と連携して文化・芸術に関する教育の場を設けること	文化・芸術に関わる人たちが交流することができること	文化・芸術に関する相談窓口があること	入場料や施設使用料を民間と比べて安く提供すること	文化財や貴重な美術品等を収集・保存すること	文化・芸術について調査・研究すること	文化・芸術に関する情報を市内外へ発信すること	他市や外国との交流の場を設けること	その他	無回答
北部	429	54.5	22.8	48.0	55.7	29.1	18.9	9.3	33.8	15.2	10.5	29.1	14.2	2.1	7.0
中部	437	60.2	20.8	47.8	53.8	30.4	22.0	7.6	35.7	13.3	9.6	33.0	10.1	1.1	6.2
南部	149	58.4	18.1	39.6	46.3	25.5	19.5	12.8	30.2	10.7	6.0	22.1	9.4	3.4	10.1

問 26 あなたは、京田辺市の文化資源とは何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「地域に伝わる芸能・風俗・行事などの伝統文化」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「日本一の玉露」の割合が 47.1%、「自然環境や文化的な景観」の割合が 42.1%となっています。

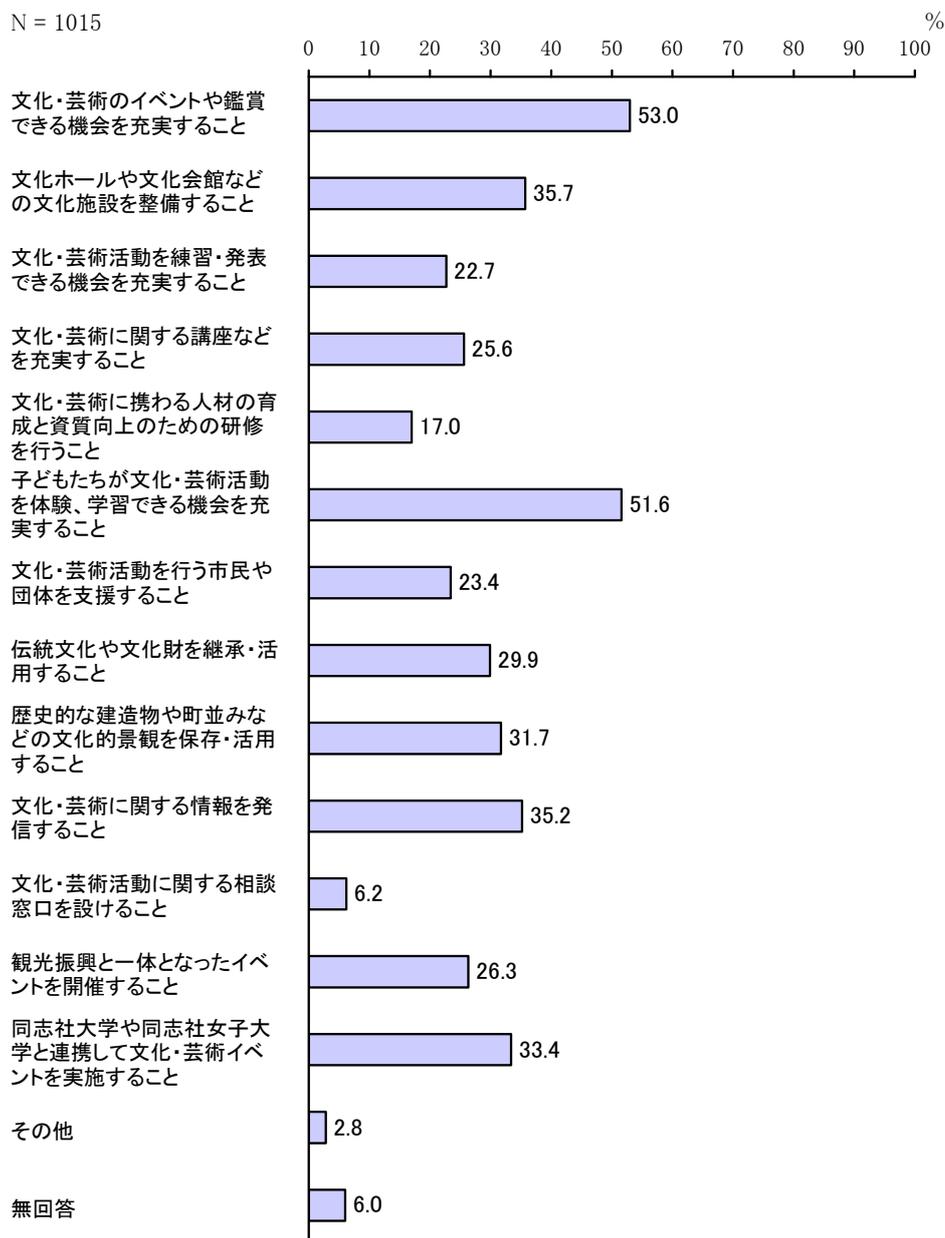


【その他の内容】

- ・ 地域を愛する住民の心
- ・ 一休寺
- ・ 桃、なす
- ・ 市内で活躍されている芸術家
- ・ 京田辺シュタイナー学校

問 27 あなたが、京田辺市の文化・芸術を発展させるために重要だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「文化・芸術のイベントや鑑賞できる機会を充実すること」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「子どもたちが文化・芸術活動を体験、学習できる機会を充実すること」の割合が 51.6%、「文化ホールや文化会館などの文化施設を整備すること」の割合が 35.7%となっています。



【その他の内容】

- ・ 近隣の市との提携活動、共催。
- ・ 行政ではなく当該活動の「主催者側」が、広く市民に活動のアピールをすることができる場所と手段を提供すること。
- ・ 若い人が楽しめる町にしてもらえたらうれしいです。
- ・ 施設をもっと開放する事。
- ・ 緑豊かな街並みを整備し、住みやすいまち作りを行うこと。住んでいる人々の意見を多くとりいれ、行政と市民の対話がきちんとできる市政を築くこと。それが、人の集まる京田辺市を作る際に大事なことだと思います。文化・芸術の担い手は人です。
- ・ ターゲット層に合わせた情報の発信。
- ・ 市役所に観光課を創設すること！観光課のない市役所なんて考えられません。
- ・ 若い人に参加してもらいイベントをするのは有力だと思います。
- ・ 世代を越えて学び合う場づくり。家族で参加できる気安さ。
- ・ 興味が無い人に興味を持ってもらえるようにすること。

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「子どもたちが文化・芸術活動を体験、学習できる機会を充実すること」の割合が最も高く、約7割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	文化・芸術のイベントや鑑賞できる機会を充実すること	文化ホールや文化会館などの文化施設を整備すること	文化・芸術活動を練習・発表できる機会を充実すること	文化・芸術に関する講座などを充実すること	文化・芸術に携わる人材の育成と資質向上のための研修を行うこと	子どもたちが文化・芸術活動を体験、学習できる機会を充実すること	文化・芸術活動を行う市民や団体を支援すること
10歳代	37	54.1	21.6	27.0	13.5	2.7	37.8	24.3
20歳代	74	50.0	16.2	28.4	23.0	16.2	48.6	13.5
30歳代	131	57.3	31.3	21.4	23.7	17.6	69.5	20.6
40歳代	163	55.2	32.5	28.8	24.5	11.7	59.5	21.5
50歳代	136	60.3	42.6	22.1	33.1	17.6	51.5	27.2
60歳代	235	53.2	40.9	22.1	26.4	19.1	53.6	27.7
70歳代	174	49.4	40.2	19.0	24.7	22.4	39.7	24.7
80歳以上	55	30.9	38.2	12.7	21.8	12.7	29.1	16.4

区分	伝統文化や文化財を継承・活用すること	歴史的な建造物や町並みなどの文化的景観を保存・活用すること	文化・芸術に関する情報を発信すること	文化・芸術活動に関する相談窓口を設けること	観光振興と一体となったイベントを開催すること	同志社大学や同志社女子大学と連携して文化・芸術イベントを実施すること	その他	無回答
10歳代	16.2	21.6	16.2	2.7	21.6	40.5	2.7	2.7
20歳代	23.0	31.1	36.5	1.4	21.6	24.3	6.8	1.4
30歳代	30.5	35.1	36.6	6.1	28.2	32.8	0.8	3.8
40歳代	29.4	33.1	34.4	3.7	27.0	37.4	3.7	1.2
50歳代	39.7	33.1	41.2	5.1	30.1	30.1	1.5	2.2
60歳代	31.1	31.1	40.0	8.1	27.7	31.5	2.6	6.4
70歳代	28.7	33.3	31.6	6.9	24.7	40.2	1.7	11.5
80歳以上	20.0	21.8	20.0	12.7	18.2	27.3	7.3	21.8

II 団体アンケート・ヒアリング調査

1 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、今後の文化振興の指針となる「京田辺市文化振興計画」を策定するにあたり、京田辺市で文化・芸術活動を行っている団体に対し、問題や課題、今後の取り組み、市の文化振興施策への要望等を把握するため、アンケート調査及びヒアリング調査を実施したものです。

2) 調査対象

平成 26 年現在、市内を拠点として活動する文化関係団体

3) 調査期間

平成 26 年 8 月 4 日から平成 26 年 8 月 25 日まで

4) アンケート調査の方法

郵送による配布・回収

5) アンケートの回収状況

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
49 通	37 通	37 通	75.5%

6) ヒアリング調査の方法

団体アンケート調査に回答した団体の中から 15 団体を抽出し、ヒアリングを実施

7) ヒアリングの実施状況

実施日：9月18日（木）、9月22日（月）、9月24日（水）

実施時間：1 団体あたり 30 分程度

実施団体数：15 団体

8) アンケート回収団体名・ヒアリング実施団体名

	団体名	アンケート	ヒアリング
1	大住隼人舞保存会	○	○
2	瑞饋神輿保存会	○	
3	京田辺茶手もみ技術保存会	○	
4	山城松明講社	○	
5	京田辺市郷土史会	○	○
6	薪区文化委員会	○	
7	京田辺音楽家協会	○	
8	大住・森のコーラス	○	○
9	コーラスグループ 野の花	○	
10	コール・ハレルヤ	○	
11	薪女声コーラス	○	
12	田辺混声合唱団	○	○
13	京田辺ハーモニカクラブ	○	
14	コール 「HEART」	○	
15	男声合唱団 K. M. C	○	○
16	桃園ジュニアバンド	○	○
17	京田辺市歌謡昂会	○	
18	京田辺三曲協会	○	○
19	邦楽サークル菊和会	○	
20	緑会	○	○
21	上方会	○	○
22	華都会	○	
23	秀雅会	○	○
24	ダンスサークル「竹の会」	○	
25	アロハエンゼル田辺	○	
26	一般社団法人桧垣バレエ団	○	○
27	京田辺芸術家協会	○	
28	日本吟道総連盟	○	
29	田辺詩吟詩舞クラブ	○	○
30	和紙画サークル	○	
31	みずき会	○	
32	“わ”の絵てがみクラブ	○	○
33	京田辺石友会	○	
34	京田辺写友会	○	
35	NPO 法人やましろ里山の会	○	
36	京田辺色紙木石会	○	○
37	まちづくり市民ネット京田辺	○	○

2 調査結果

問1 貴団体が文化・芸術活動を行う上で問題や課題となっていることはありますか。

【広報・PRについて】

- ・広く市民に広報をしていくことが難しい。
- ・広報京たなべの紙面容量不足で、住民参加を呼びかけるイベント活動が掲載してもらえない月がたびたびある。PR等に苦勞をしている。

【練習会場や展示会場、演奏会場などの施設について】

- ・地元市民により多くの機会に舞台芸術を鑑賞してもらいたいが、公演の上演が可能な京都市内の劇場での開催になってしまう。
- ・練習会場の確保が難しい。
- ・展示会場や演奏会場の確保が難しい。
- ・展示会場などがもう少し広ければ、ゆったりとして生かされた作品展示ができると思う。

【施設整備について】

- ・施設が整っていない。音響等の設備が整った会館等がほしい。
- ・リハーサルができる部屋がほしい。
- ・中央公民館にエレベーターがなく、階段の昇り降りが大変。荷物等を持ちながらの移動が大変である。

【構成員の減少と高齢化について】

- ・団体の人数が増えることがない。少なくなっている。
- ・構成員等が高齢化してきている。若い人材がいない。
- ・高齢化になってきたことにより、活動に制約が生じることがある。
- ・後継者、役員の不足。

【予算不足等について】

- ・活動するための予算不足（衣装や道具の傷み修理）。
- ・団員の減少により、個人負担が増加してきている。

問2 貴団体において、団体の活動を今後どのようにしていこうとお考えですか。

【文化に触れる場や機会の提供について】

- ・ 若い児童から老人に至るまで幅広く興味をもってもらえるように努力していく。
- ・ 舞台芸術を一人でも多くの方に気軽に楽しんで頂けるような環境づくりに取り組む。
- ・ 日本の伝統の邦楽を広く広めて若い人に伝えていきたいと思っている。
- ・ 小学生がのびのびと楽器を練習できるようにいろいろな場所へ要望を出す。
- ・ 生涯学習として多くの方が参加して、学び合う場を継続していきたいと思う。
- ・ 団員の増加の為、年齢層を子育て世代に参加の呼びかけをしている。子ども連れでの練習参加を実施している。
- ・ 本会には、素晴らしい実績を持った会員が集まっている。遠くまで聞きに行かなくても、この京田辺市で低料金で素晴らしいクラシックコンサートを開催して、皆様に喜んで頂けるような組織に充実させて、京田辺市の音楽文化を向上させていきたいと願っている。

【地域の文化等の周知について】

- ・ 地域の歴史や文化を知ってもらう、取り組み方を工夫する。
- ・ 住宅開発が進み多くの新しい住民が増えている。新しい住民に薪のすばらしさを伝えていく取り組みを推進していく。
- ・ 子どもたちが参加できる活動を進め、自分の村はこんなに素晴らしい所であると言える子どもを育てる取り組みをする。

【構成員や団員の募集について】

- ・ 継承者の確保。
- ・ 常に団員の募集行動を行っている。

【他団体等との連携について】

- ・ 本市の財産でもある「大学のまち」を生かすため、同志社大学・同志社女子大学との連携を深めていきたい。
- ・ 他団体との連携を深めていきたい。

【その他】

- ・ 京田辺市の市民文化の向上に貢献していく。
- ・ 作家による作品発表の場をもう少しスケールを広げて、市民をも巻き込んだのワークショップ。

問3 他の団体と連携しながら活動を行っていますか。行っている場合は連携している団体の概要と、連携をしている内容について記載ください。

【行事や発表会への参加】

- ・年一回連盟発表会の実施。
- ・文化協会等が主催する行事に参加。
- ・市の年中行事に参加（とうちくふれあい祭、青葉の集い、京田辺市民舞踊発表会、京田辺市民文化祭、やましろ合唱フェスティバルなど）。

【ボランティア活動】

- ・ボランティア活動による支援。

問4 京田辺市の文化施設について、ご意見をお聞かせください。

【施設の運用について】

- ・中央、北部、中部センター、地区公民館の役割、位置付けの見直しを望む。恵まれた施設があるが運用について市民の声を反映してほしい。
- ・中央公民館の建替えや生涯学習センター等、文化ホールを併設した文化施設がほしいところであるが、箱もの行政の弊害にも配慮し、効率的な施設運営が望まれる。
- ・小中学校の音楽施設、講堂等の市民への開放。
- ・地域公民館使用料の負担軽減。

【施設建設について】

- ・舞台芸術を披露する事の出来る施設がないのが残念。
- ・人が集まる場所の確保（気楽に集まる所）。
- ・中央公民館の改築望む。音響設備、照明設備等の設備の充実を望む。
- ・利便性及び音響について、多くの会員が音楽ホールの必要性を訴えている。早期建設を望む。
- ・博物館が小さく、わかりにくい。
- ・大きくて、設備の整った最新のホールが欲しい。
- ・音楽演奏に適した音響の良いホールが欲しい。但し、余り大きいホールは使用回数が少ないと思うので、400～500名程度の収容人員でよいのではないかと。
- ・音楽家協会としては、大きなホールがあっても収容面で無理なため、音響の整った400～500人の客席のホールが欲しいと長年願っている。
- ・京田辺市内に発表のできるホール設置を希望する。800人～1000人収容施設。舞台は多用途に使用できる設備。
- ・市民音楽祭や第九コンサートが開催できる1千人収容規模のホールとコンサートが開催できる300人収容規模のホールを早急に建設願いたい。

- ・文化施設があるにこしたことはないが、立てる前にメリット、デメリットの部分をしっかり検討されなければ、多額の費用を費やしてもムダになりかねない。施設を維持していくにも大変な費用が掛かる。再度の検討を重ねながら進んで行っていただきたい。
- ・京田辺市の古い歴史、資料等の大切なものの常設展示。
- ・作家による作品常設展示。

【施設建設の反対意見】

- ・他市のような文化センター等税負担を増やすやり方は反対する。

【設備について】

- ・中央公民館の駐車場が狭い。
- ・京田辺中央公民館にぜひエレベーターが欲しい。会員の構成年齢からして、市民の利用度と有難さが高まると思う。
- ・中央公民館大ホールの舞台・音響設備の改善

問5 京田辺市の文化・芸術を発展させるために重要だと思うことは何ですか。

【市民の文化に触れる場や機会の提供について】

- ・就学前や小学校低学年のうちに本物の芸術に触れさせる機会を作ることが重要だと思う。学校行事に芸術鑑賞を取り入れることができないか。
- ・気軽に参加できる体制づくり（入ってよかった楽しかった、次回も行うか等）
- ・継続する事が一番なのだが、もっと若い人たちが楽しく参加できれば、幅広いものになると思う。
- ・市民が気軽に意見交換できる体制（話を吹上げる力が必要である）。
- ・プロ演奏家による定期的演奏会の開催。
- ・多くの文化財を生かした観光の取り組み等を通して市の活性化を図っていただきたい。
- ・地域の文化祭を増やすよう進める。

【施設建設について】

- ・音楽ホールの建設。
- ・何よりも文化活動の拠点とホールの建設を望む。生涯学習センターとして、幅広く市民が利用できる施設も賛成。コンサートだけでなく、広いロビーでの展覧会、講習会、資料館などの複合施設になることも更に活性化になると思う。
- ・各団体の発表会ができるホールがある京田辺市の文化の中心と言える施設が望まれていると思う。

【他団体との連携について】

- ・市内には多くの団体があるが、それらが独自に活動している。もっと連携する機会があれば全体的に高まるのではないか。
- ・他のサークルとの交流による若者の参加を促進する。

【人材の発掘について】

- ・隣接する市町と連携を取り、多くの知識を得ながら、内部でも、経験豊富な、文化人、芸術家たちとのコミュニケーションができる機会を設け、一層の文化、芸術の発展に尽力出来る人材の発掘から始める事が必要だと思う。

【団体・サークルへの支援】

- ・活動団体構成員の高齢化が進んできた。次世代への繋ぎ継続、次世代との交流ができるサークル作りが大切と思う。
- ・京田辺市内で活動している、文化・芸術関連団体やサークルに対する積極支援。

【周知・啓発活動について】

- ・文化・芸術活動に、市民が多く参加してもらえるよう周知の為の広報の活用。

【行政の姿勢について】

- ・行政の文化活動の基本指針を明示すること。
- ・民間に主体性を持たせるといって、行政が関与せず丸投げでなく、民間とともに歩む行政の姿勢なくして活力はない。
- ・市の文化・歴史・文化財への意識が非常に低いように思える。文化財にしても、兼任の担当では文化財行政は進むものではない。

問6 京田辺市の文化振興のあり方などについて、ご意見、ご要望があれば、ご自由にお書きください。

【様々な団体との交流や連携・協力について】

- ・同志社大学との交流の機会を持ち共存する目標を趣味サークルの活発化のための支援の要請。
- ・文化協会活動の強化と教育委員会（教育部）の共調、協議体制。
- ・文化協会・教育委員会との協力体制を整える。

【文化の普及・啓発について】

- ・将来世界に通じる芸術文化の発展につながるような専門家の発掘に努めるとともに、若い人たちに夢をもたせるよう指導されたい。
- ・会員による市内教育機関への演奏活動や、出前授業により普及を図りたい。
- ・情報（発信・受信）の一元化が必要。

【文化等を生かしたまちづくりについて】

- ・音楽活動について、いつでも、どこでも音楽が流れている街、京田辺を音楽の街にしたいと思う。
- ・京田辺市には有数の吹奏楽団があり、音楽を演奏し、聞くことに熱心な多くの市民がいる。また、市内の同志社女子大学を巻き込み、この市民、大学、小中学の横断的な活動を行うことにより、音楽溢れる街づくりが可能であると考え。是非、横断的な企画協議組織を組成頂きたい。
- ・一休寺以外の文化の財産の活用を。

【支援・援助について】

- ・もう少しいろんな面で援助してほしい。人員、費用など
- ・無形文化財に対する支援を。

【計画策定と策定後の計画の推進について】

- ・振興計画策定のための審議会の立ち上げ
- ・文化振興計画が意見交換だけで終わることなく、多方面の有職者との会話を多く取りながら、実際、結果を形にして表わせるよう、有意義に進んでほしい。
- ・文化行政、文化活動と住みよい街作り効果の年度別評価